

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書（護岸概成時）

（令和 7 年 2 月分）

【海水の流れ・海域生態系調査】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 海水の流れ調査	II - 1
2. 海域生態系調査	II - 26

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年2月の事後調査（海水の流れ・海域生態系調査）の概要は表－1に、調査点の位置は図－1に示すとおりである。

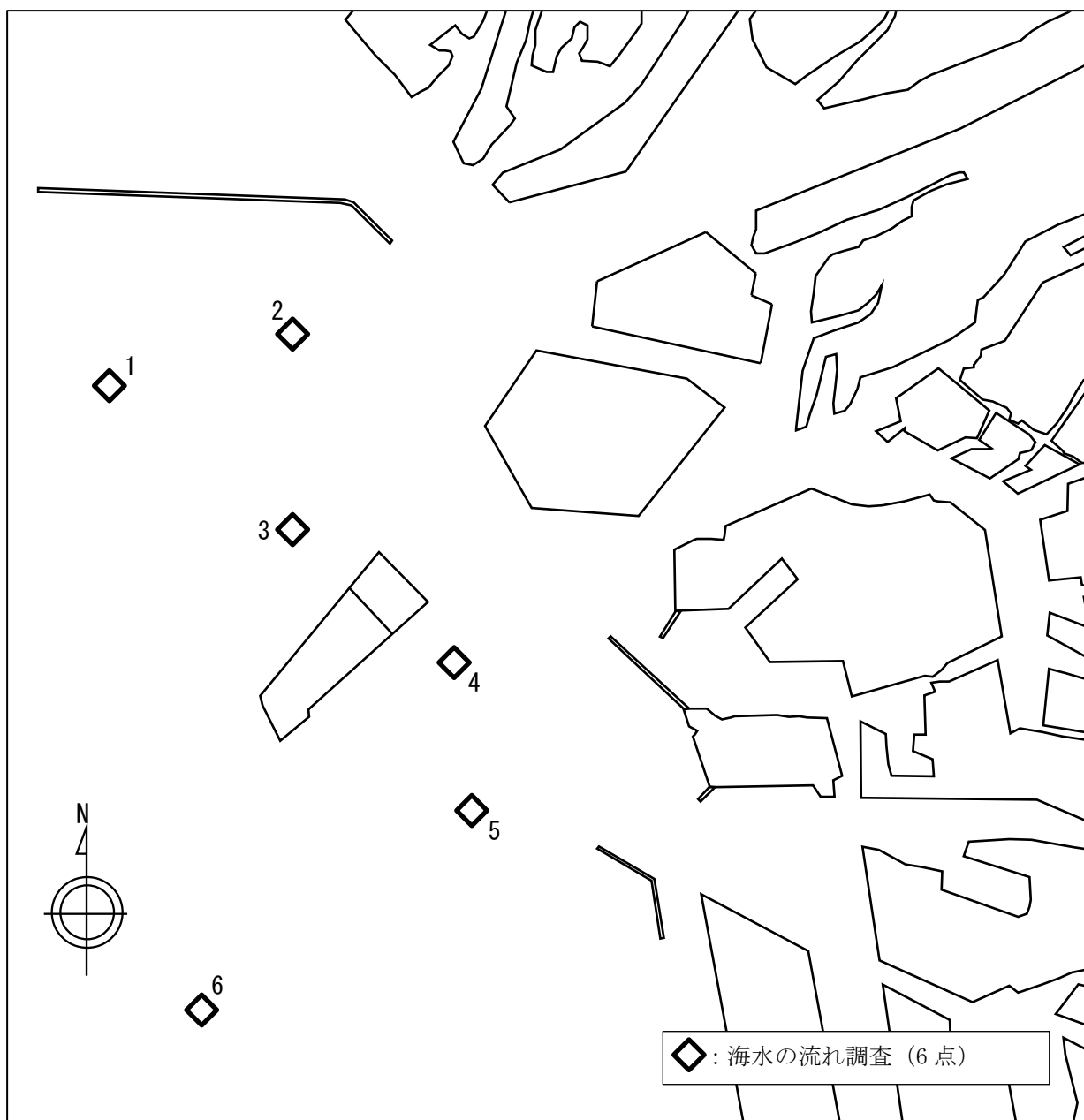
表－1 事後調査（海水の流れ・海域生態系調査）の概要（令和7年2月）

（2）海水の流れ

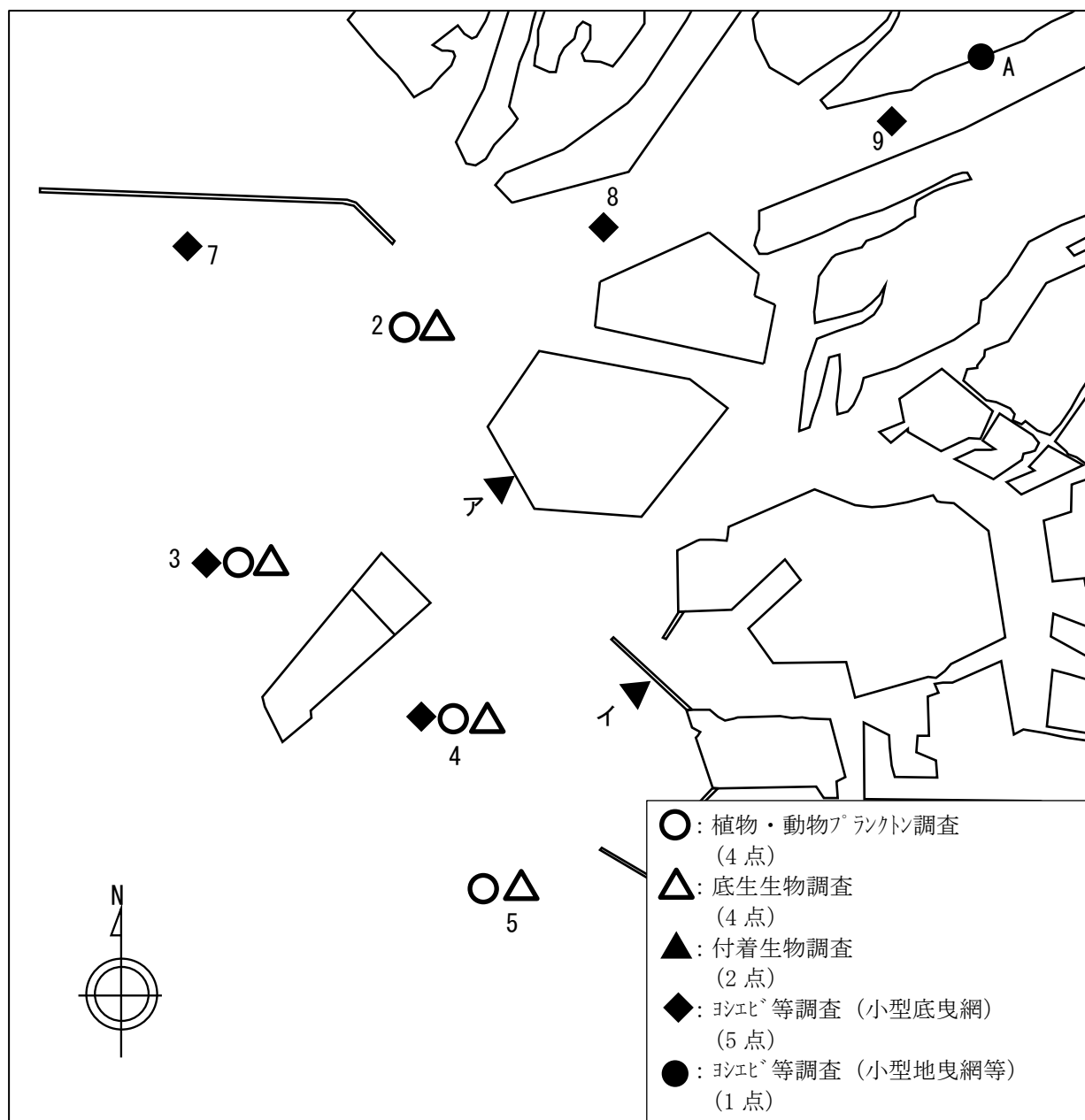
調 査 項 目		調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)
定点調査	流向・流速 水温・塩分	6点×4層 第1層：海面下1m 第2層：海面下3m 第3層：海面下6m 第4層：海底面上1m	2回 (2, 8月)	2月12日 ～ 2月26日	自記式流向流速計を設置 併せて、水温・塩分の連続測定を実施

（8）海域生態系

調 査 項 目			調査範囲・調査点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)	
植物プランクトン調査			種組成、細胞数	4点×2層 【2, 3, 4, 5】 (海面下1m、海底面上2m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月12日	バントーン型採水器を用いて採水し、室内分析を行う。
動物プランクトン調査			種組成、個体数	4点×1層 【2, 3, 4, 5】 (鉛直曳き)	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月12日	北原式定量ネットを用いて採取し、室内分析を行う。
底生生物調査			種組成、個体数、湿重量	4点 【2, 3, 4, 5】	2回 (2, 8月)	2月12日	スミス・マッキンタイヤー型採泥器を用いて採取し、室内分析を行う。
付着生物調査①			種組成、個体数、湿重量	2点3層 【7, 1】 (平均水面、大潮期最低潮面、大潮期最低潮面-1m)	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月16日	ダイバーによる目視観察及び枠取り調査を行う。
付着生物調査②			ムラサキガイ現存量調査	2点 【7, 1】	4回 (2, 5, 8, 11月)	2月16日	ダイバーによる目視観察及び枠取り調査を行う。 枠取り調査ではムラサキガイの分布が比較的均質な場所を選び、分布層の上位・中位・下位の3層で採集する。 また、目視観察では0.5～1m 毎に被度と厚みを測定する。
水産生物①	ヨシエビ等現存量調査	小型底曳網調査	種別個体数、全長	5点 【3, 4, 7, 8, 9】	12回 (毎月)	2月11日 2月25日	カバーネットを付けた石桁網又はこれと同等の漁具を用い曳網を行う。
			水温、塩分、DO				船上より測定器を垂下し、1mビッチで測定する。
水産生物②	ヨシエビ等現存量調査	小型地曳網等調査	種別個体数、全長	淀川の岸边1点	4回/年 (3, 4, 10, 11月)	—	淀川の岸边で小型地曳網等を用いて曳網を行う。
			水温、塩分				採水し、機器測定を行う。



図— 1 (1) 海水の流れ調査点 (令和 7 年 2 月)



図—1 (2) 海域生態系調査点 (令和7年2月)

2. 調査結果の概要

(1) 海水の流れ調査

1) 平均大潮期の流況【流況様式 1 号】

海面下 1m では、調査点 1、2、3 においては、1 潮汐間を通じて概ね東南東～南方向の流れとなっており、流向の変化は小さかった。調査点 4、5、6 においては、高潮後 1 時から低潮前 1 時は沖側に向かう南～西方向の流れとなっており、低潮後 2 時から高潮前 1 時は概ね東南東～南方向の流れとなっていた。

海底面上 1m では、高潮後 3 時から低潮前 2 時は沖側に向かう概ね南～西方向の流れ、低潮時から高潮前 1 時には湾奥側に向かう概ね北～東方向の流れとなっており、沖側に向かう流れに比べて湾奥側に向かう流れの方がやや強い傾向を示していた。

2) 恒流【流況様式 2 号】

海面下 1m では、調査点 1、2、3 では東南東～南東方向、その他の調査点では南～南西方向の流れとなっていた。

海面下 3m では、調査点 1、3、6 では南～南南東方向、調査点 2 では西方向、その他の調査点では西南西方向の流れとなっていた。

海面下 6m では、調査点 1、3 では東方向、調査点 2、4、5 では北西～北北西方向、調査点 6 では南東方向の流れとなっていた。

海底面上 1m では、北北西～東北東方向の流れとなっており、いずれの調査点も概ね湾奥側に向かう流れを示していた。

流速は下層部に比べて上層部で大きい傾向を示していた。

3) 水温、塩分【流況様式 3 号】

水温については、海面下 1m では変動範囲が 6.0～9.7℃で期間平均値が 8.0～8.1℃、海底面上 1m では変動範囲が 8.0～9.1℃で期間平均値が 8.6～8.8℃であり、上層部に比べて下層部の変動は小さく、調査点間の差異は各層ともに小さい傾向を示していた。

塩分については、海面下 1m の変動範囲は 20.4～31.5、各調査点の期間平均値は 28.8～30.4 となっており、淀川河口部に位置する調査点 2 では、他の調査点に比べて変動が大きく、低塩分となる傾向を示していた。一方、海底面上 1m での変動範囲は 31.2～32.5 と海面下 1m に比べて変動が小さく、各調査点の期間平均値は 32.0～32.2 で調査点間の差異は小さかった。

(2) 海域生態系調査

1) 植物プランクトン【海域生態系様式 1 号】

植物プランクトンの調査点別出現種類数は上層（海面下 1m）では 59～69 種数、下層（海底面上 2m）では 60～73 種数、細胞数は上層では、9,207,000～17,064,300cells/L、下層では、428,600～1,638,600cells/L の範囲にあった。沈殿量は上層では、0.14～0.28mL/L、下層では、0.12～0.79mL/L であった。

細胞数による主な出現種は、上層は *Skeletonema costatum* complex、下層では *Skeletonema costatum* complex、*Pseudo-nitzschia* sp. (cf. *pungens*) であった。

2) 動物プランクトン【海域生態系様式 2 号】

動物プランクトンの調査点別出現種類数は 13～19 種数、個体数は、36,131～63,916 個体/m³ であった。沈殿量は 13.5～19.0mL/m³ であった。

個体数による主な出現種は、*Evadne nordmanni*、nauplius of COPEPODA、*Podon polyphemoides* であった。

3) 底生生物【海域生態系様式 3 号】

底生生物の調査点別出現種数は、軟体動物門 1～5 種類、環形動物門 6～8 種類、節足動物門 0～1 種類の計 7～14 種類であった。調査点別個体数は、軟体動物門 2～11 個体/0.1 m²、環形動物門で 58～208 個体/0.1 m²、節足動物門 0～1 個体/0.1 m² の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、シノブハネエラスピオ、ハナオカカギゴカイであった。

4) 付着生物①【海域生態系様式 4、5 号】

付着植物の出現種類数（各層の合計）は、調査点アで緑藻綱 3 種類、紅藻綱 4 種類の計 7 種類であり、調査点イで緑藻綱 3 種類、褐藻綱 1 種類、紅藻綱 5 種類、その他 2 種類の計 11 種類であった。

各層の湿重量は、調査点アでは 3.47～28.00g/0.1 m²、調査点イでは 0.96～45.87g/0.1 m² の範囲であった。

湿重量による主な出現種は、調査点アではイトグサ属、アオサ属、シオグサ属であり、調査点イではイトグサ属であった。

付着動物の出現種数（各層の合計）は、調査点アで軟体動物門 17 種類、環形動物門 24 種類、節足動物門 19 種類、その他 14 種類の計 74 種類であり、調査点イで軟体動物門 21 種類、環形動物門 29 種類、節足動物門 25 種類、その他 14 種類の計 89 種類であった。

各層の個体数は、調査点アで 1,628～4,674 個体/0.1 m²、調査点イで 1,987～4,091 個体/0.1 m² の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、調査点アではウスカラシオツガイ、タテソコエビ属であり、調査点イではウミミズムシ、ウスカラシオツガイであった。

5) 付着生物②【海域生態系様式 6 号】

杓取り調査によると、ムラサキイガイの個体数は調査点アで 0~2 個体/0.25 m² (合計 4 個体/0.25 m²)、調査点イの上位から下位で各 1 個体/0.25 m² (合計 3 個体/0.25 m²) が出現した。

湿重量は調査点アで 0~0.05 g/0.25 m² (合計 0.07 g/0.25 m²)、調査点イで 0.01 g 未満~1.72 g/0.25 m² (合計 1.81 g/0.25 m²) であった。

6) 水産生物(ヨシエビ等)(小型底曳網調査)【海域生態系様式 7、8 号】

水温は、水深 0.5m で 6.0~7.8℃、海底面上 1.0m で 6.4~9.1℃の範囲にあった。

塩分は、水深 0.5m で 15.0~29.2、海底面上 1.0m で 16.8~32.2 の範囲にあった。

溶存酸素量 (D0) は、水深 0.5m で 10.7~12.5mg/L、海底面上 1.0m で 8.0~10.5mg/L の範囲にあり、D0 飽和度は水深 0.5m で 94.8~123.0%、海底面上 1.0m で 84.8~101.4%の範囲にあった。

生物の出現種数は、全調査点の合計で魚類 12 種類、甲殻類 7 種類、頭足類 1 種類、その他 4 種類の計 24 種類であった。

個体数は、魚類は 1~17 個体、甲殻類が 0~50 個体、頭足類が 0~1 個体、その他が 0~9 個体の範囲にあり、湿重量は、魚類が 2.6~5,361.4 g、甲殻類が 0~94.3 g、頭足類が 0~1.0 g、その他が 0~84.2 g の範囲にあった。

個体数による主な出現種は、スベスベエビ、シャコ、アカエビであり、スベスベエビとシャコは調査点 3、4、7 で、アカエビは調査点 4 で主要種となった。

湿重量による主な出現種は、アカエイ、ヒラメであり、アカエイは調査点 7、8 で、ヒラメは調査点 3 で主要種となった。

7) 水産生物(ヨシエビ等)(小型地曳網等調査)【海域生態系様式 9 号】

2 月は調査なし。

Ⅱ 事後調查結果

流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日

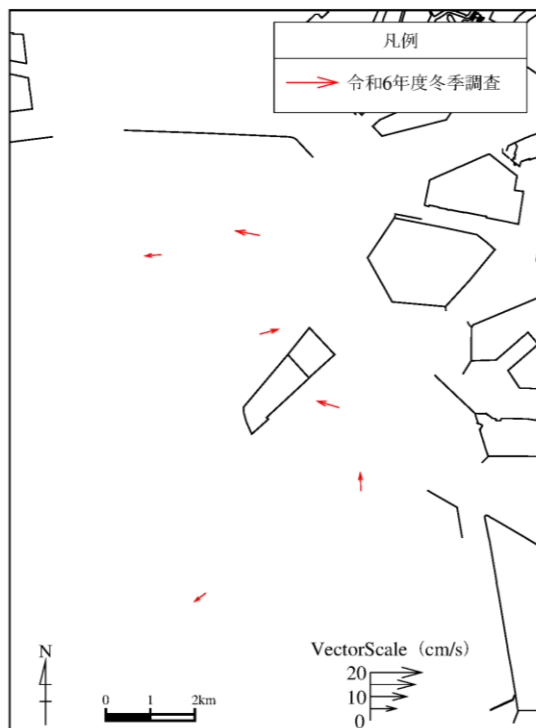
<高潮時、海面下1m>



<高潮時、海面下6m>



<高潮時、海面下3m>

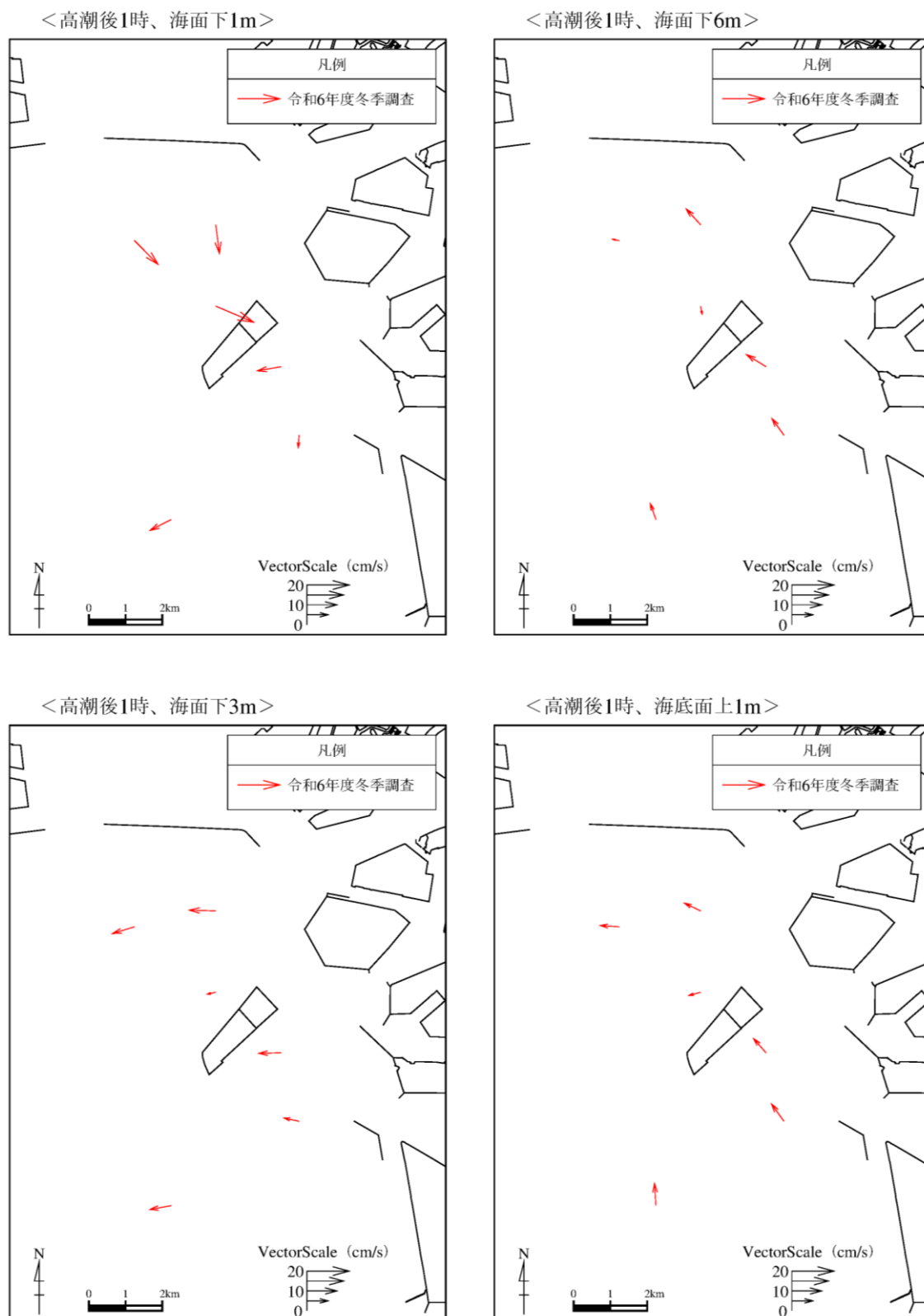


<高潮時、海底面上1m>



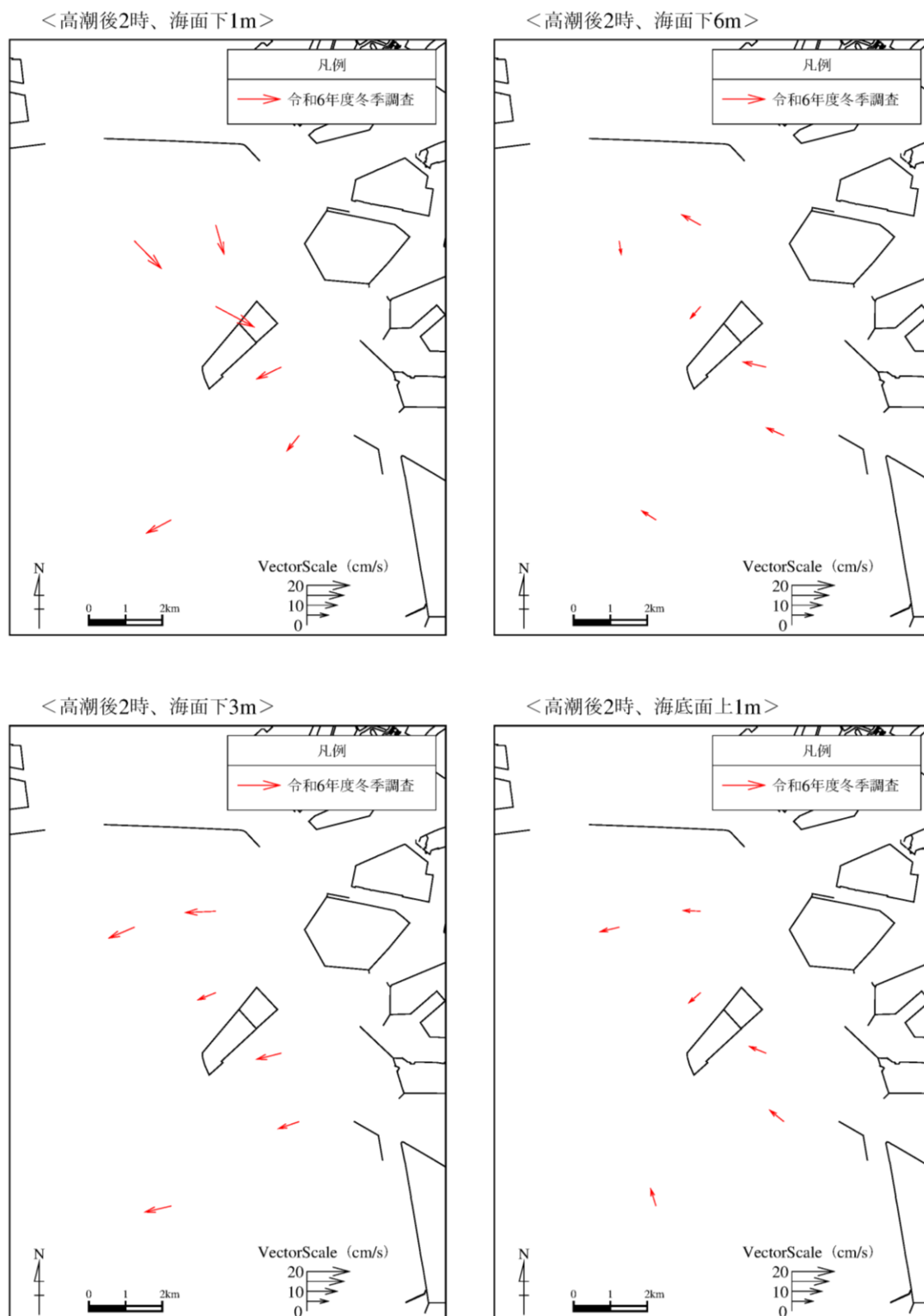
流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



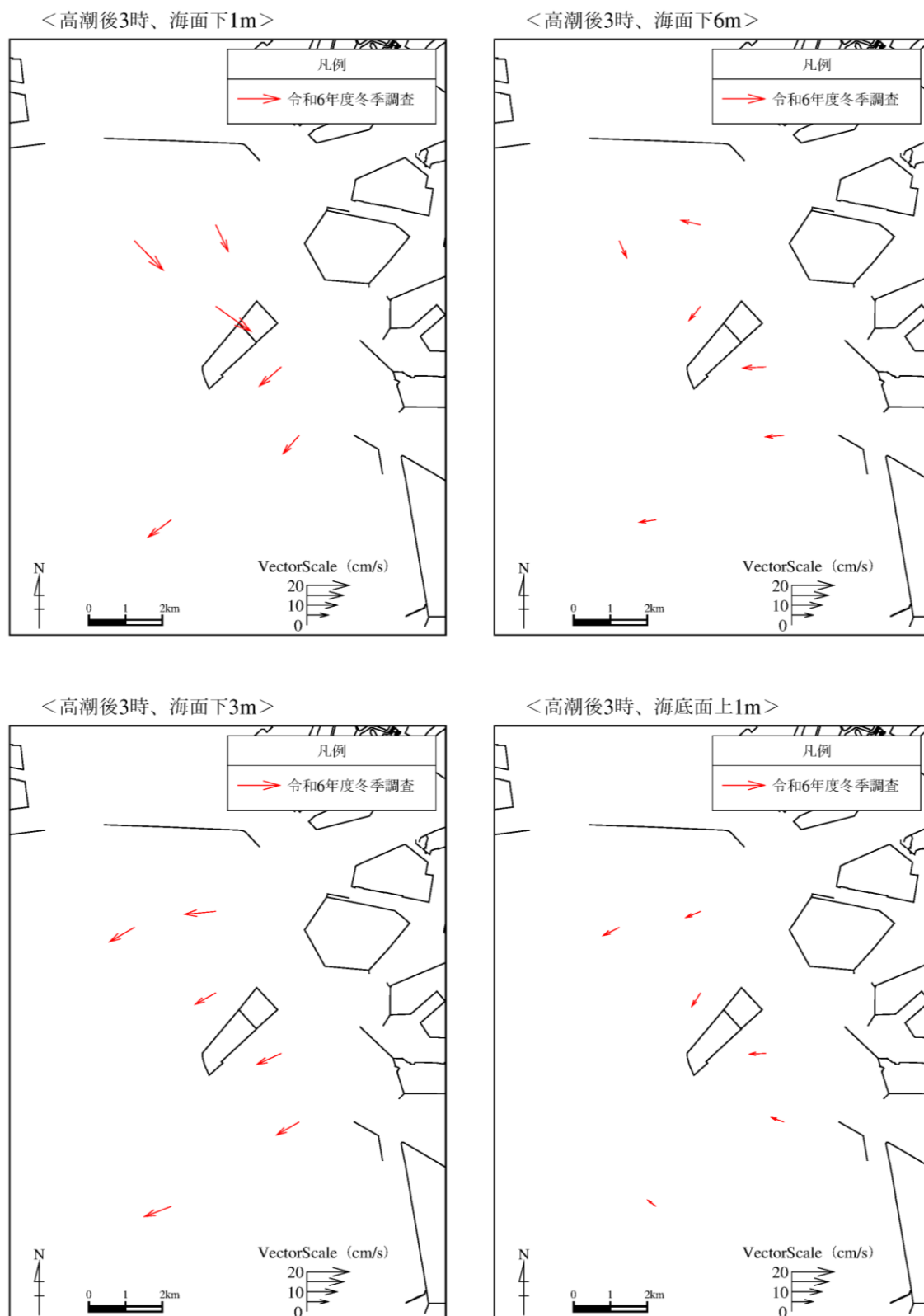
流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

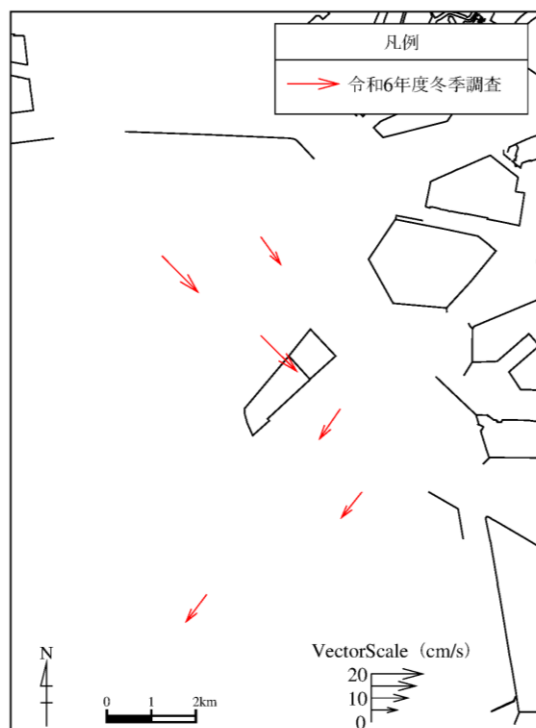
調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日

<低潮前2時、海面下1m>



<低潮前2時、海面下6m>



<低潮前2時、海面下3m>

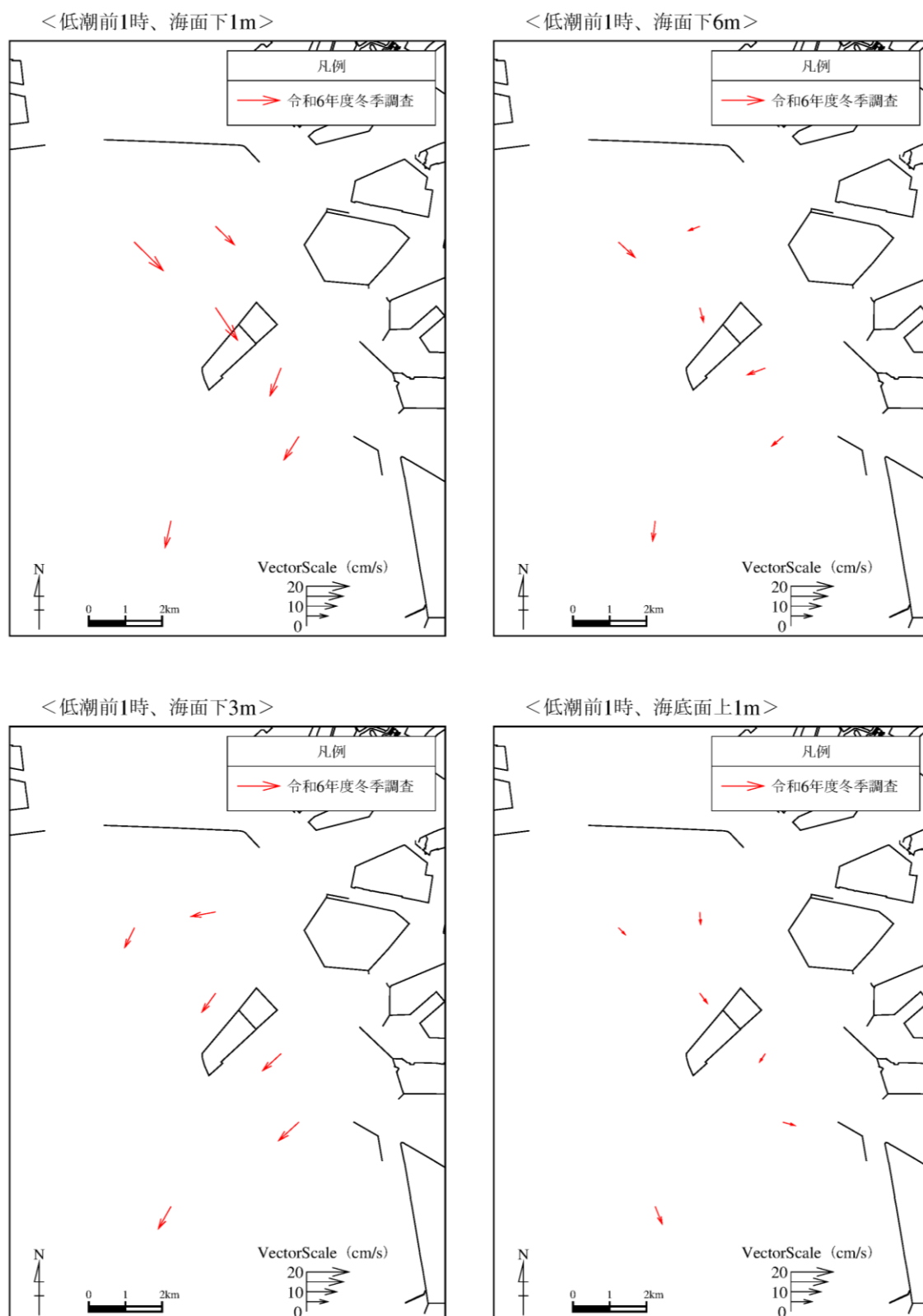


<低潮前2時、海底面上1m>



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日

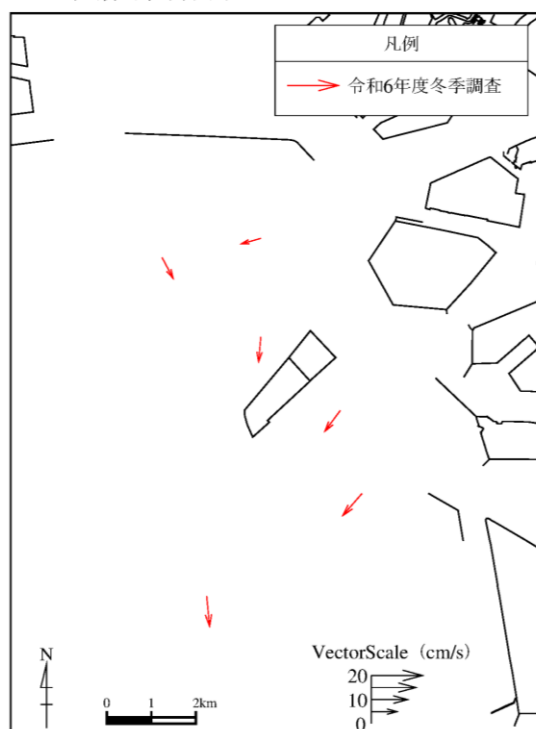
<低潮時、海面下1m>



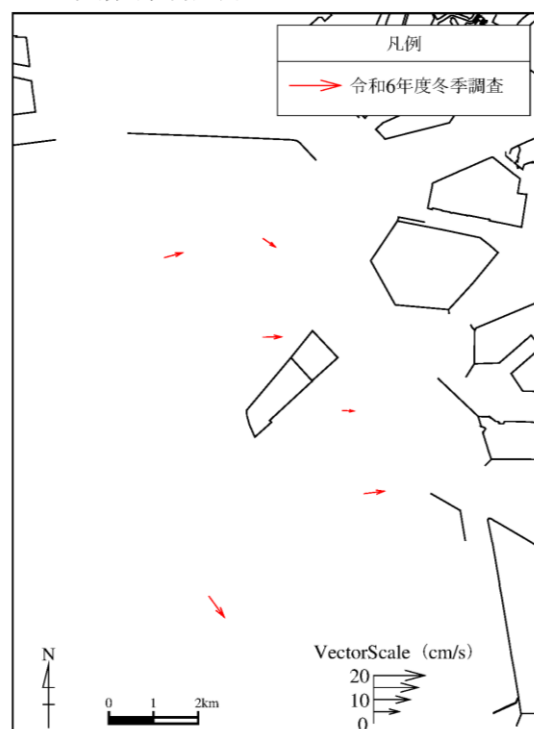
<低潮時、海面下6m>



<低潮時、海面下3m>

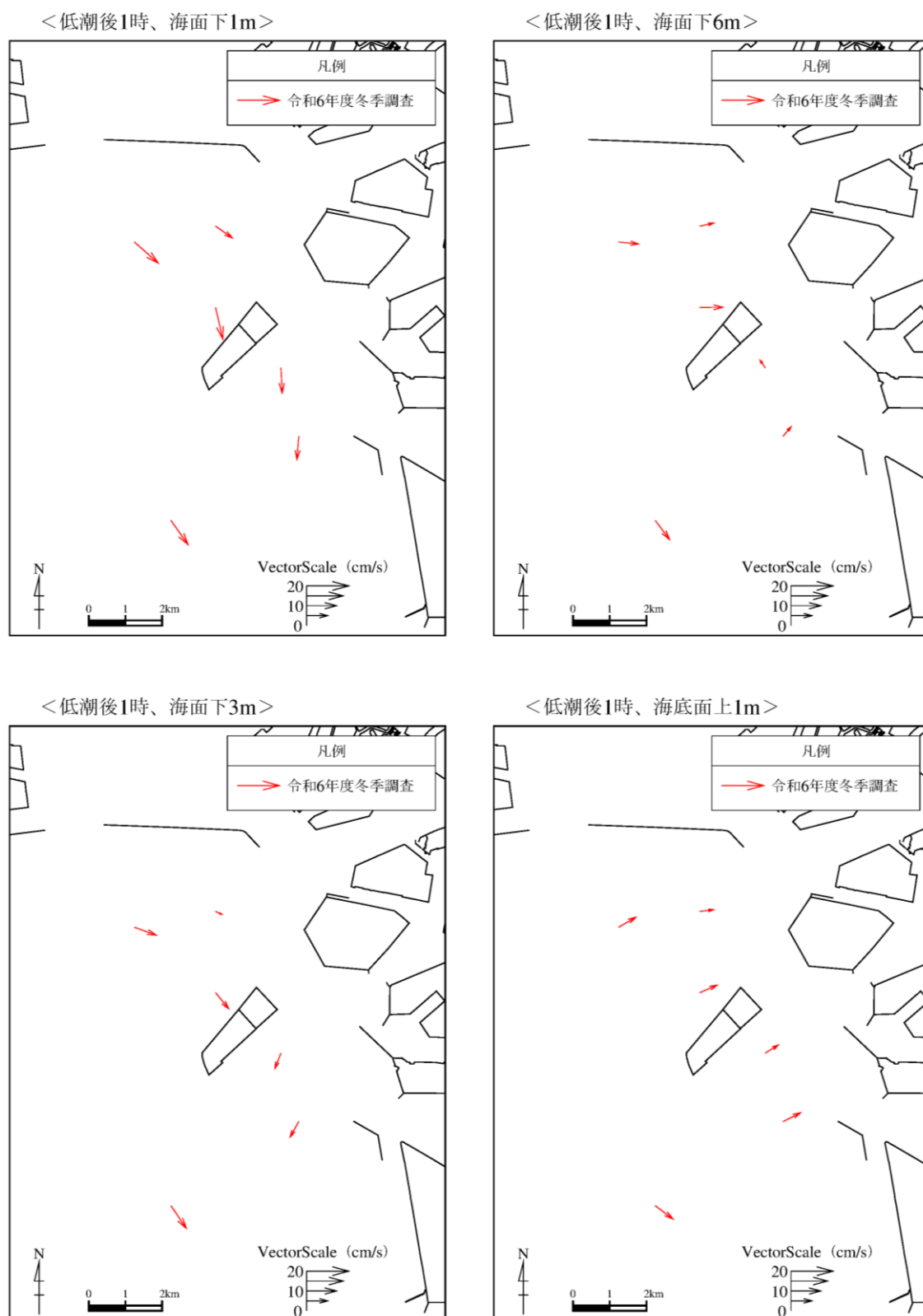


<低潮時、海底面上1m>



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日

<低潮後2時、海面下1m>



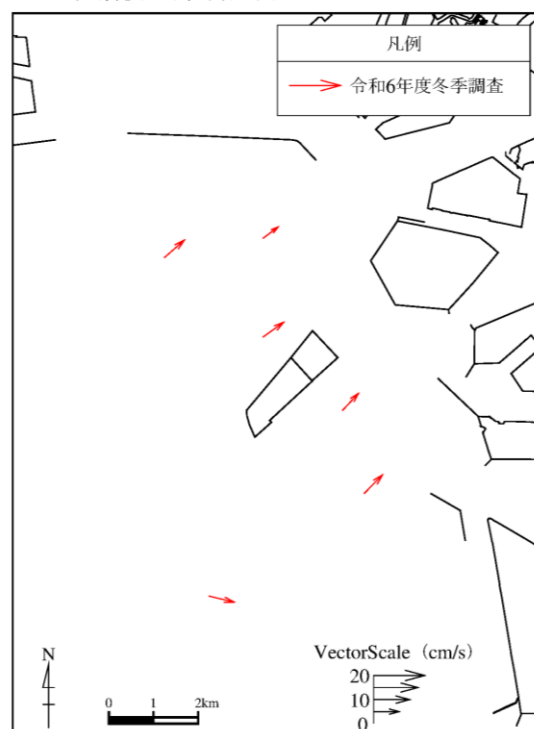
<低潮後2時、海面下6m>



<低潮後2時、海面下3m>



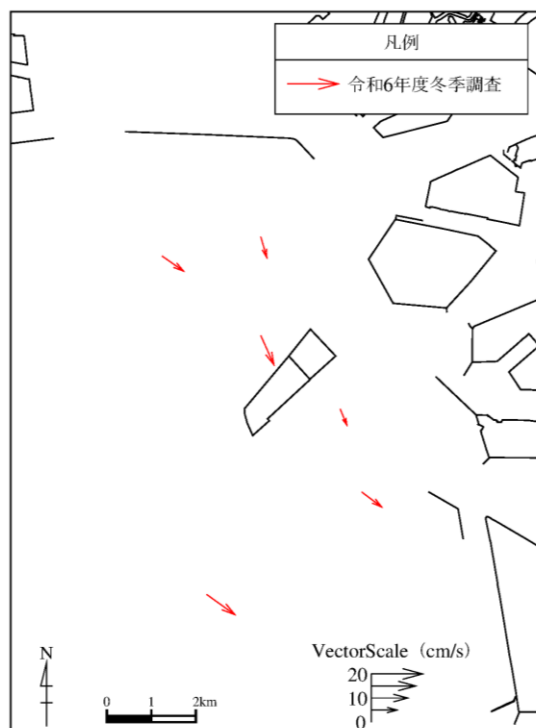
<低潮後2時、海底面上1m>



流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日

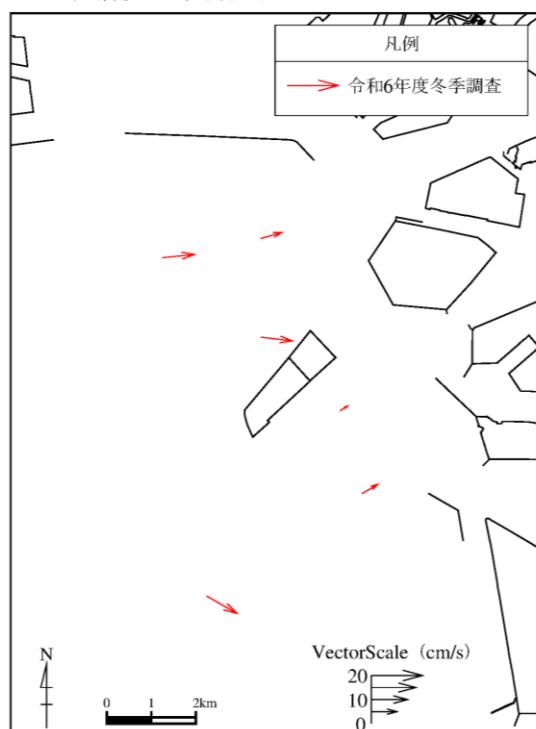
<低潮後3時、海面下1m>



<低潮後3時、海面下6m>



<低潮後3時、海面下3m>

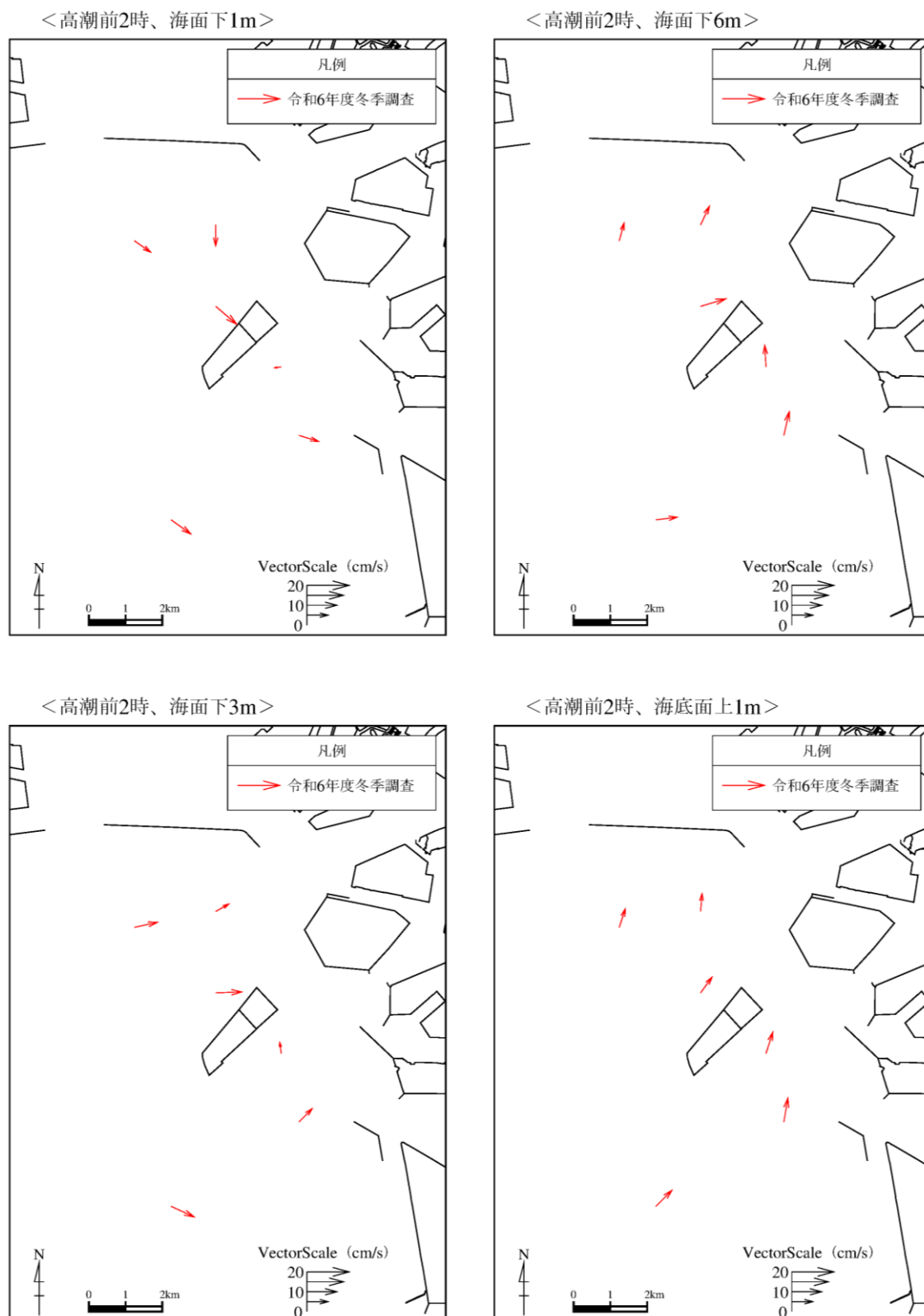


<低潮後3時、海底面上1m>



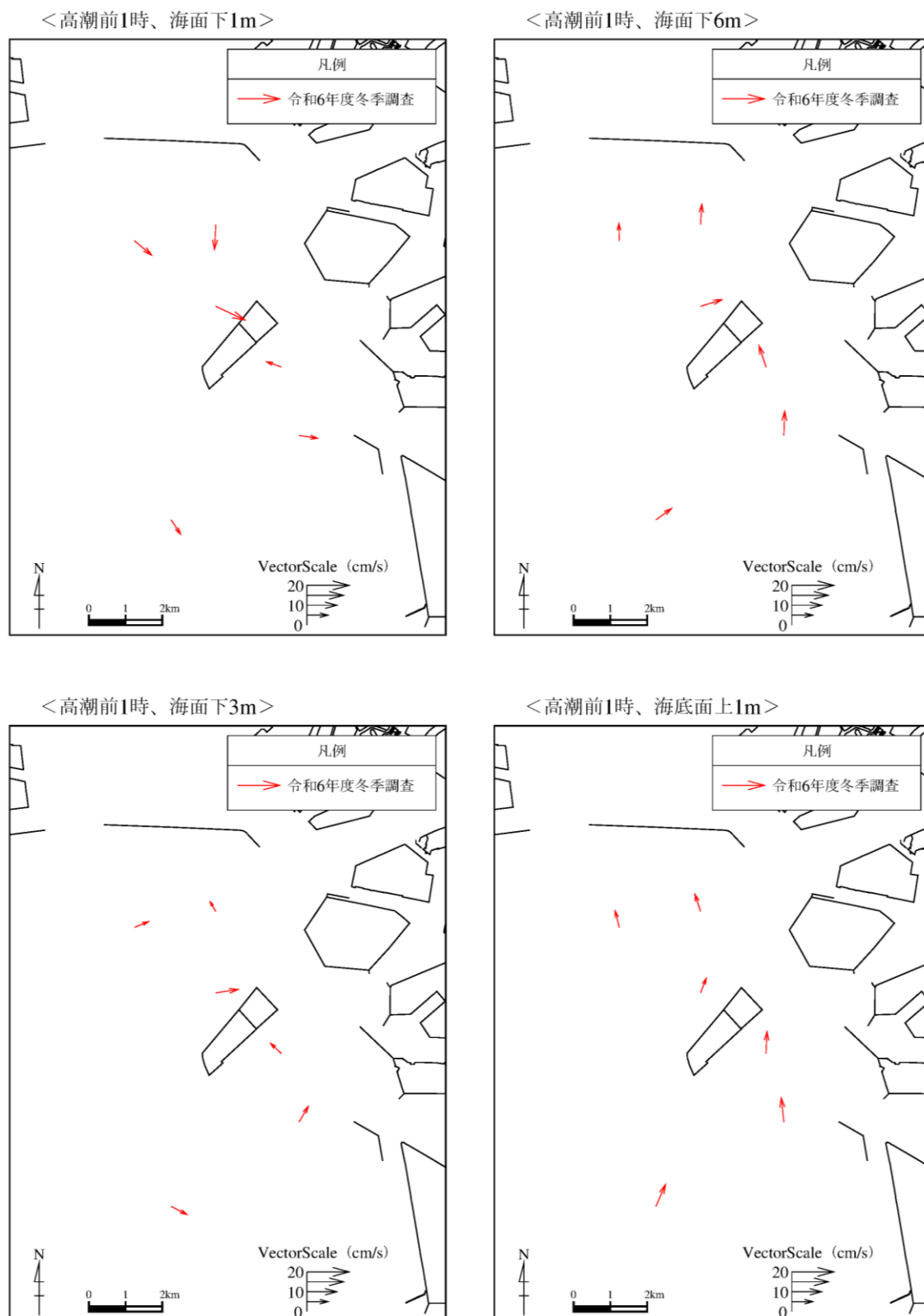
流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



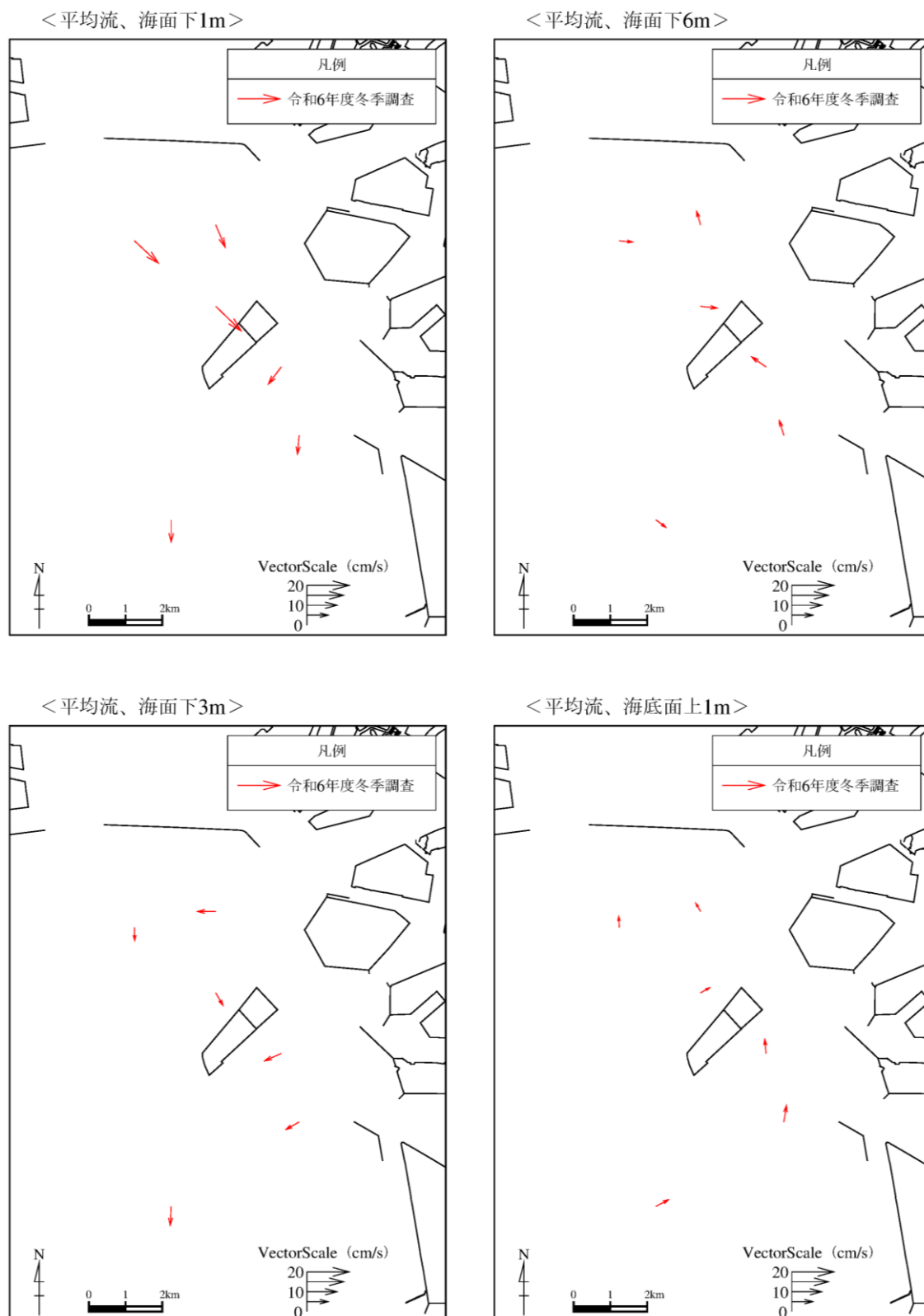
流況調査結果（潮流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



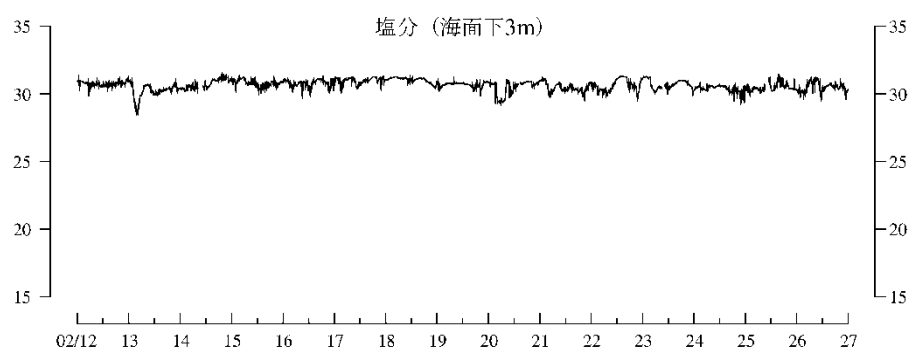
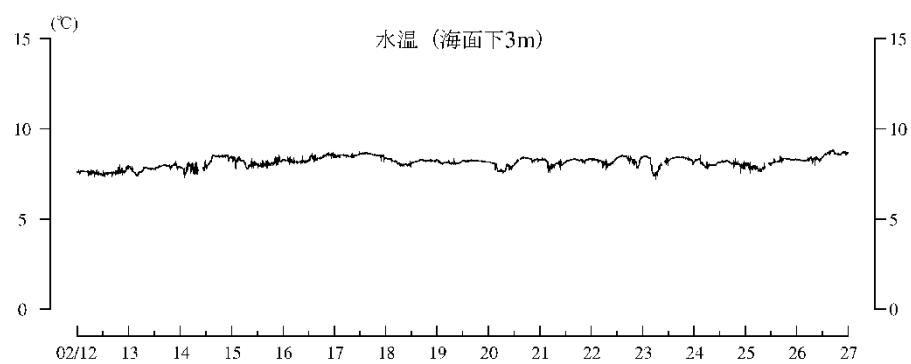
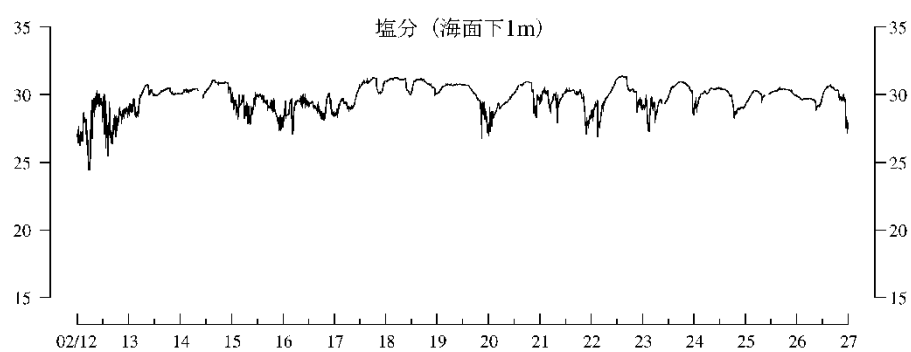
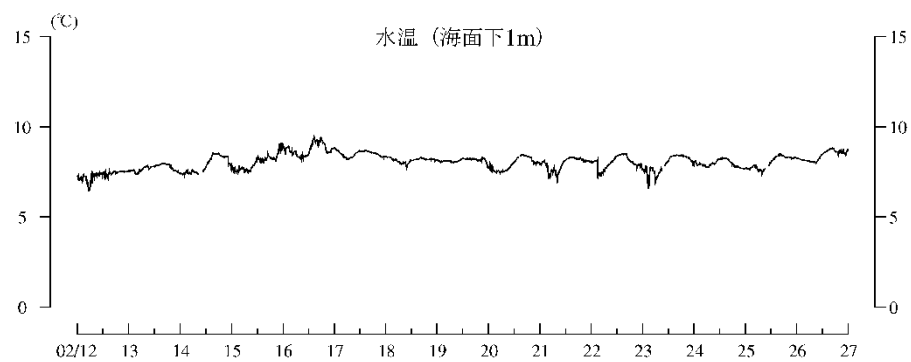
流況調査結果（恒流）〔令和 7 年 2 月分〕

調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



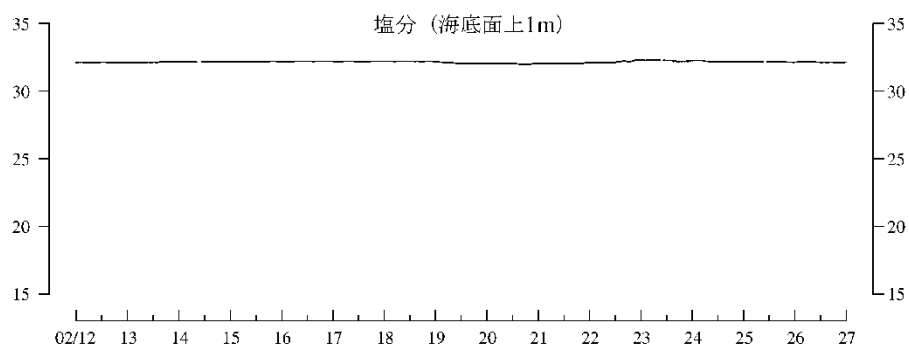
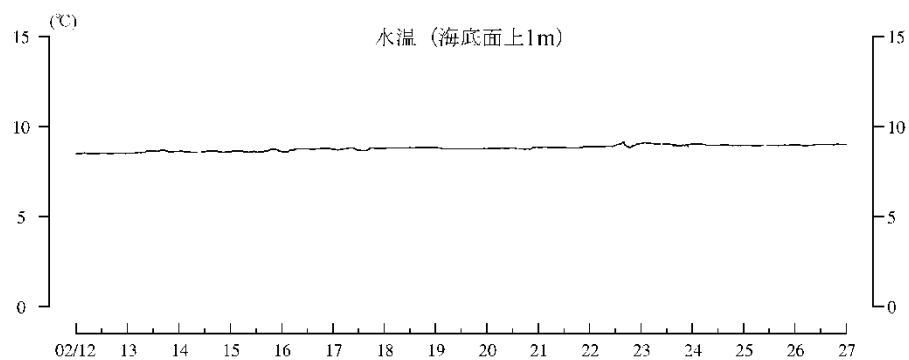
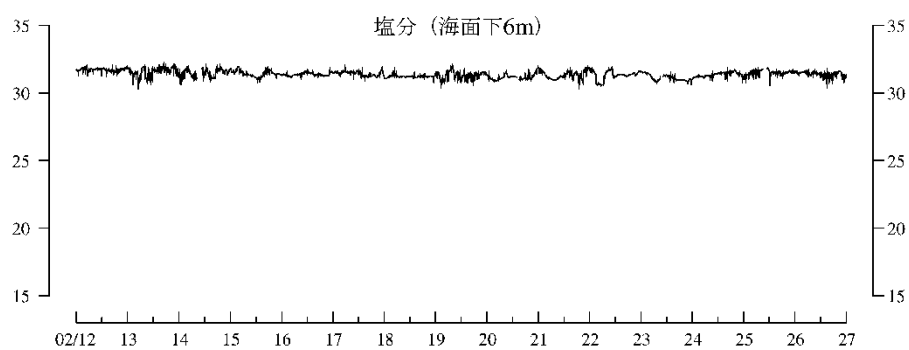
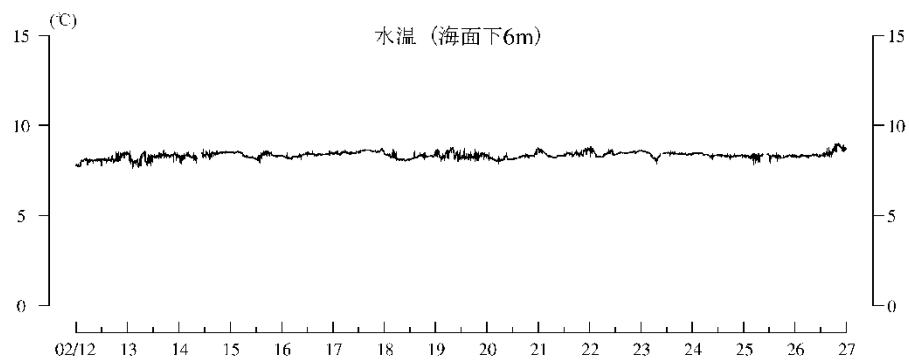
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 1 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



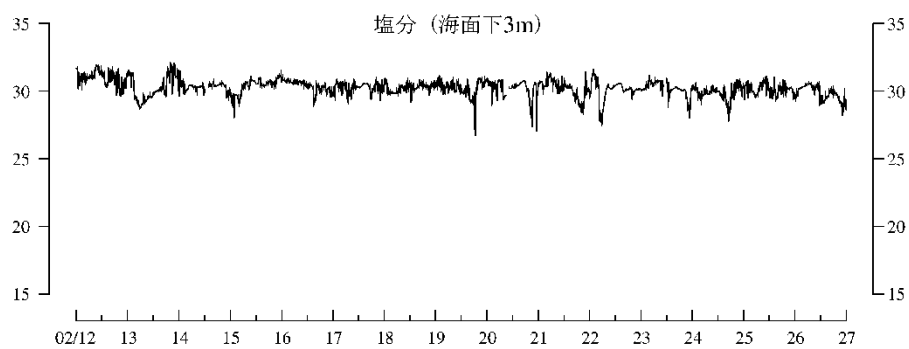
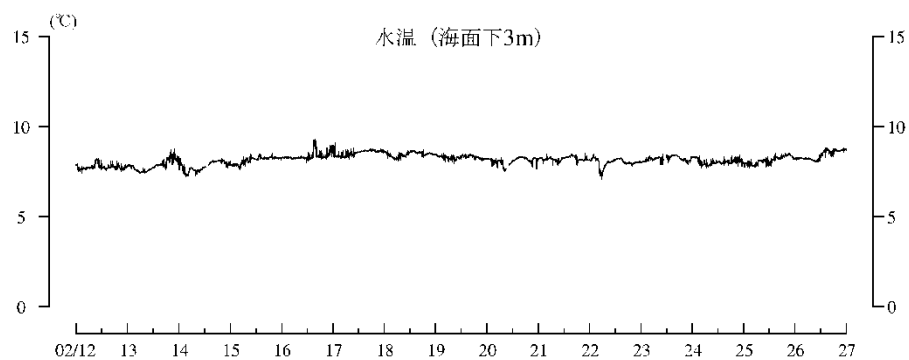
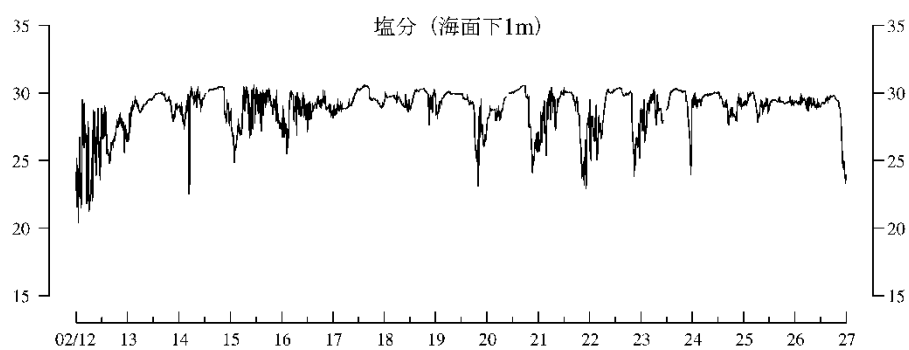
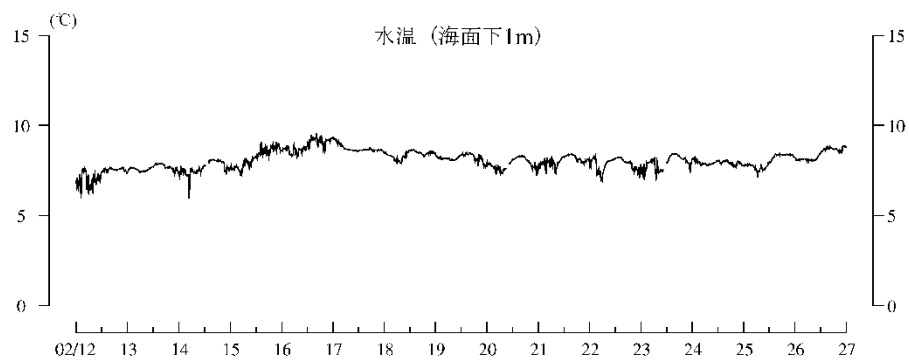
流況調査結果（水温、塩分）〔令和 7 年 2 月分〕

調査点 1 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



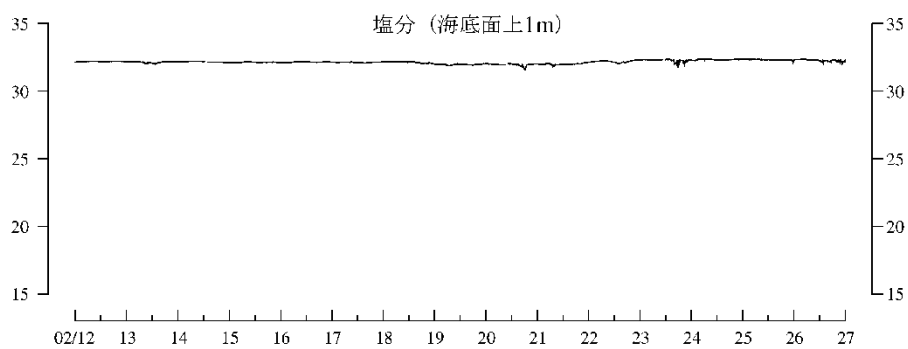
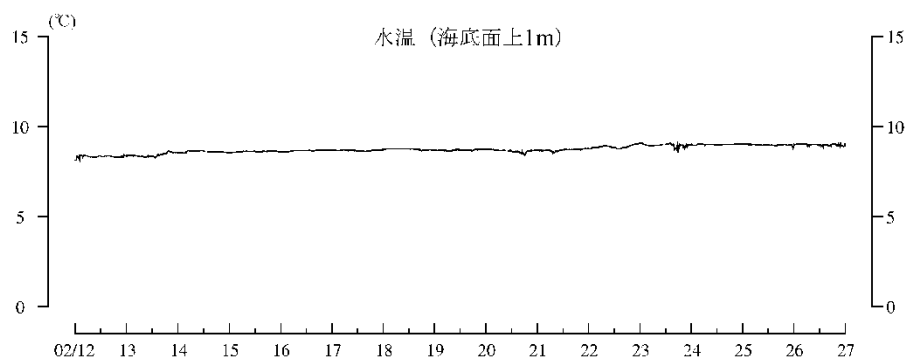
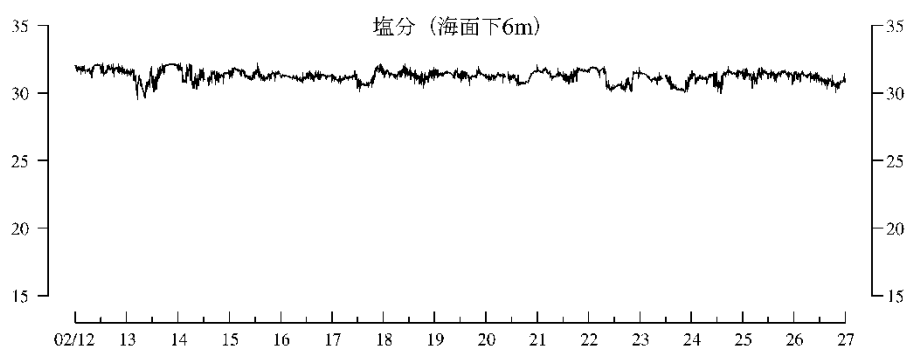
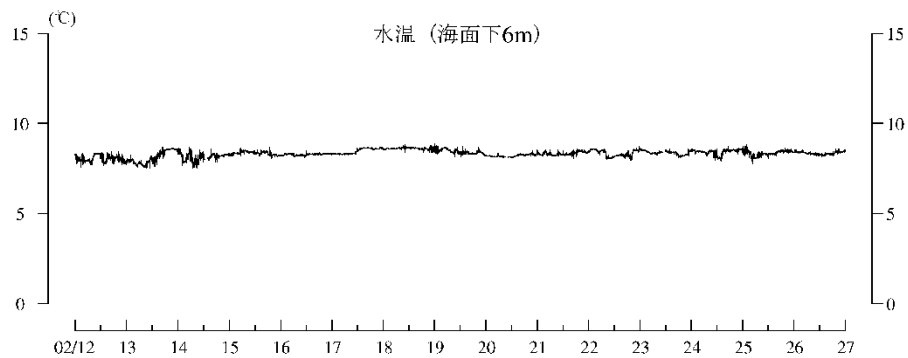
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 2 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



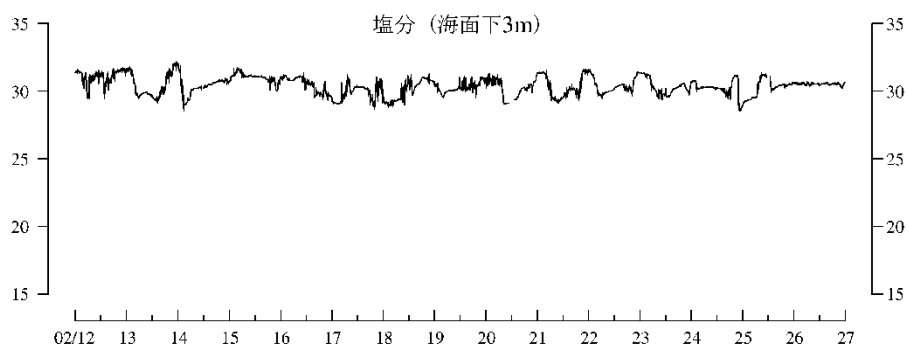
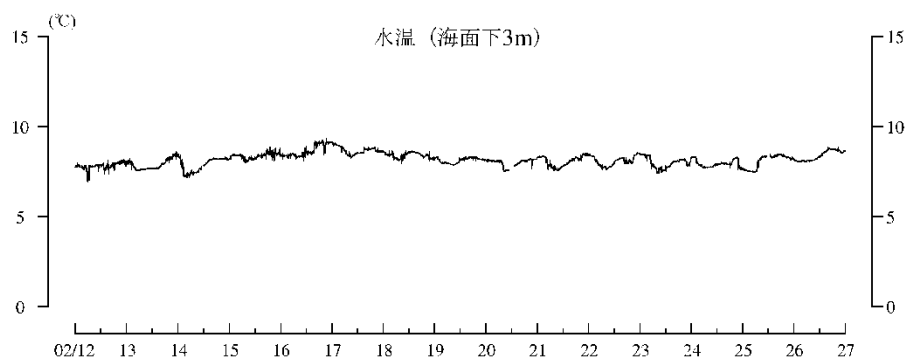
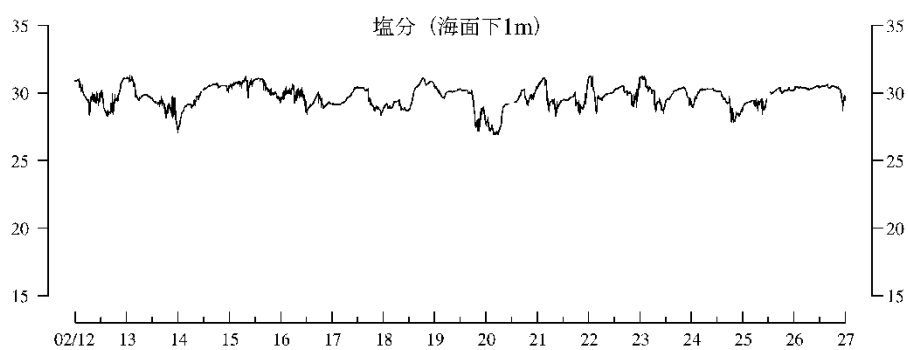
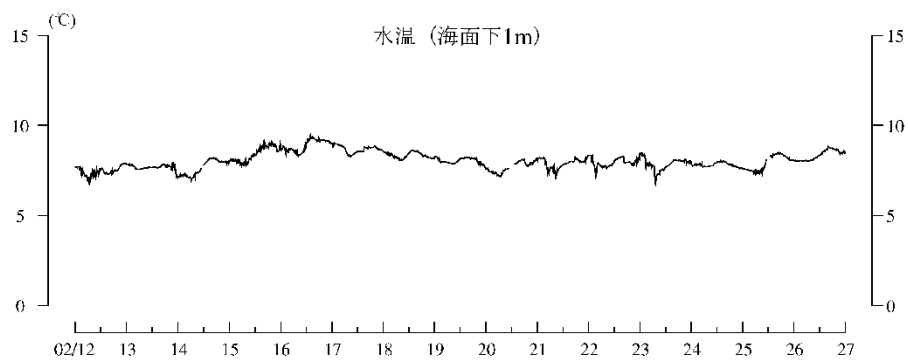
流況調査結果（水温、塩分）〔令和 7 年 2 月分〕

調査点 2 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



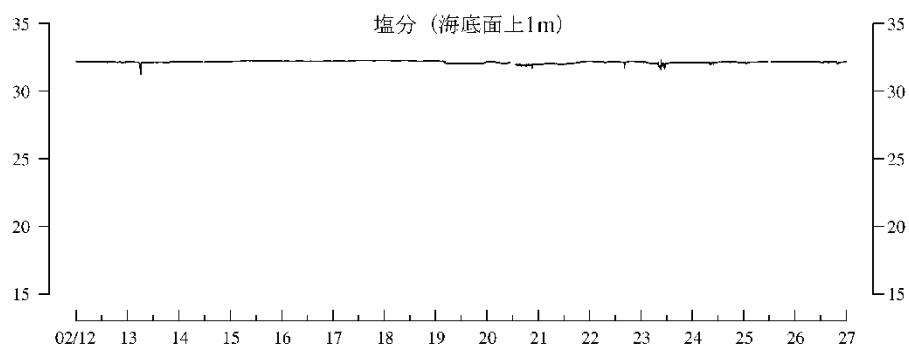
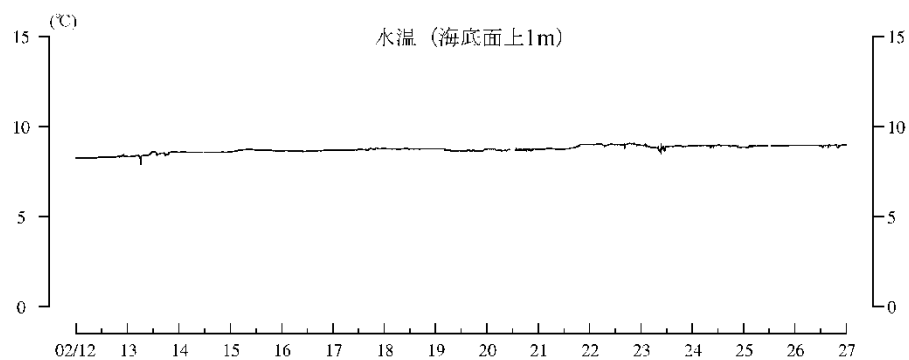
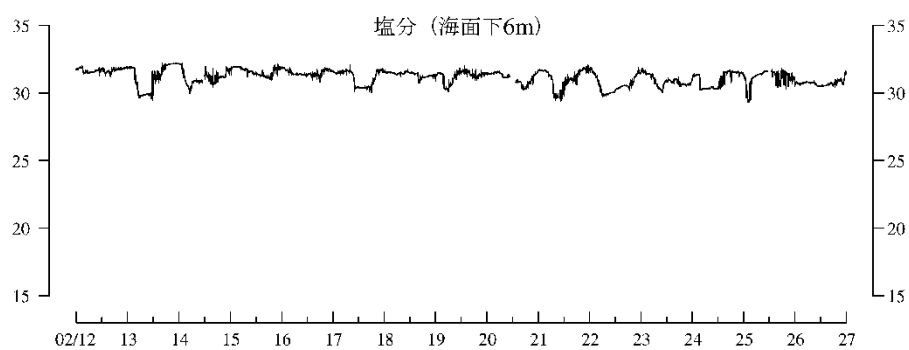
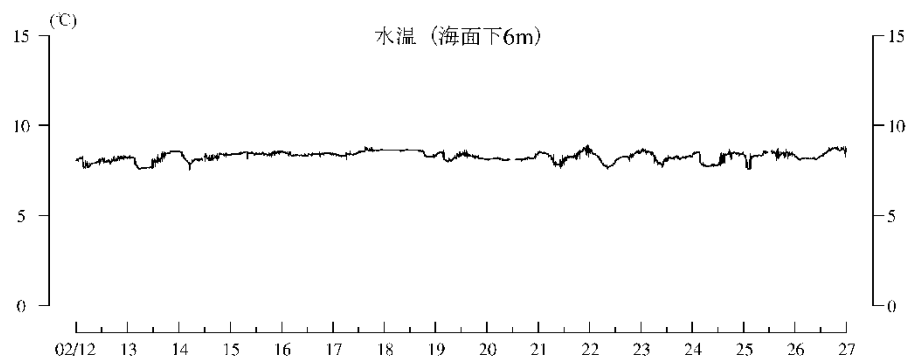
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 3 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



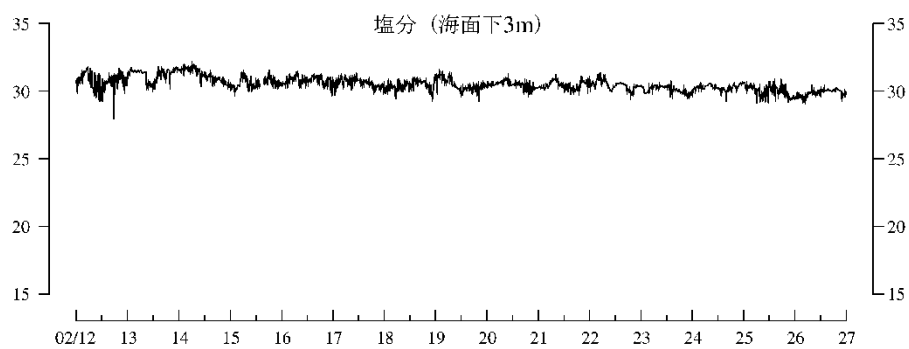
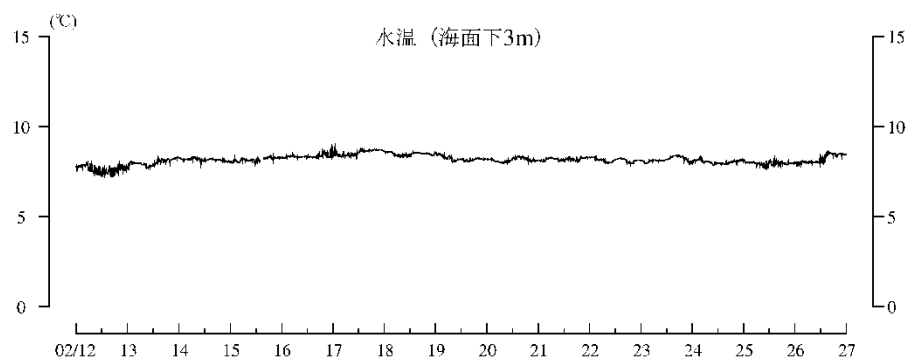
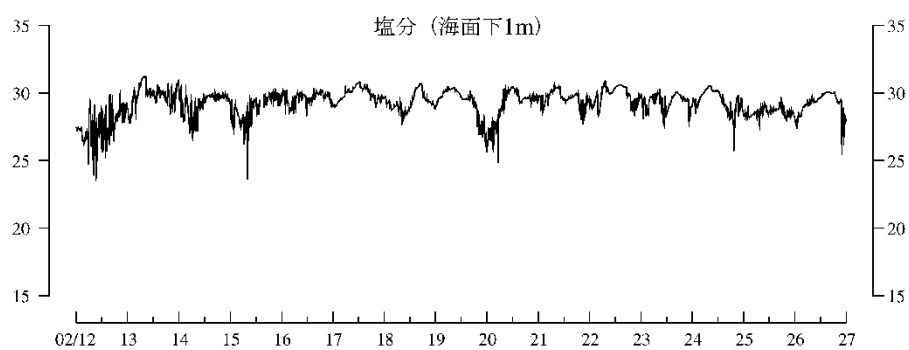
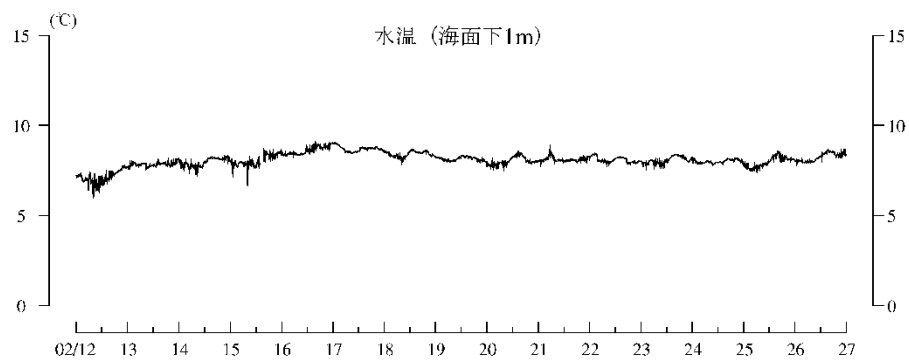
流況調査結果（水温、塩分）〔令和 7 年 2 月分〕

調査点 3 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



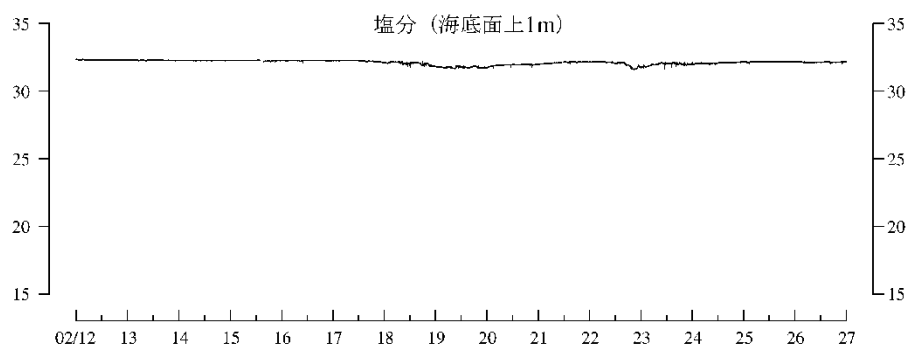
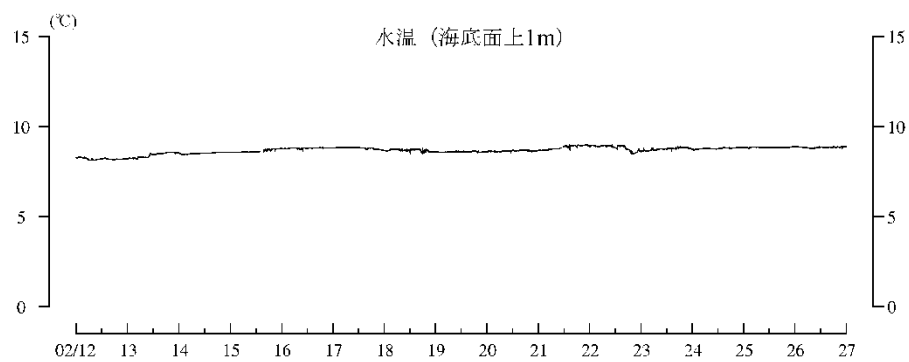
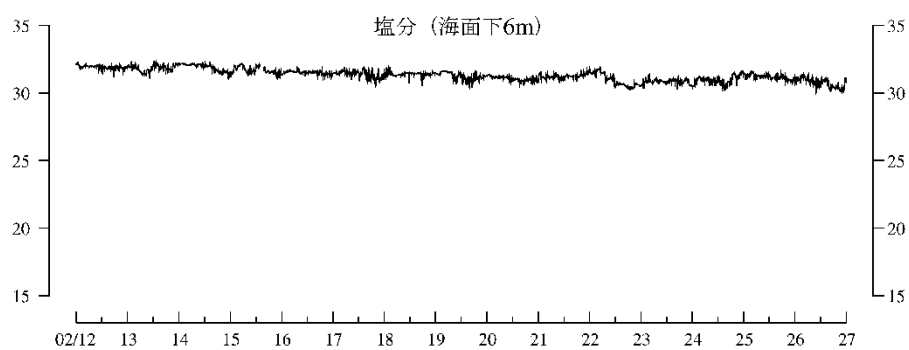
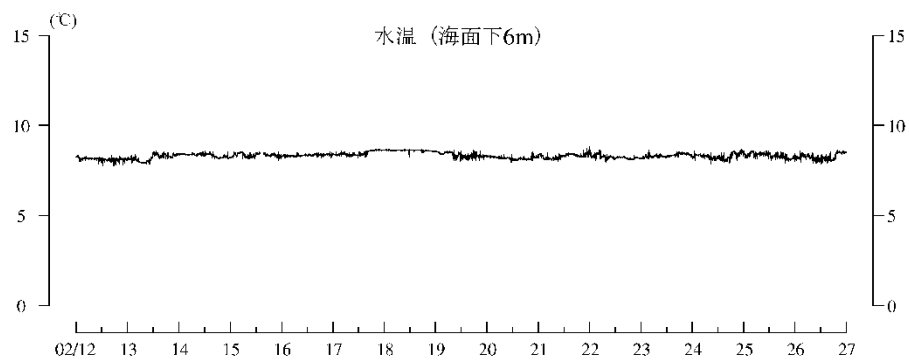
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 4 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



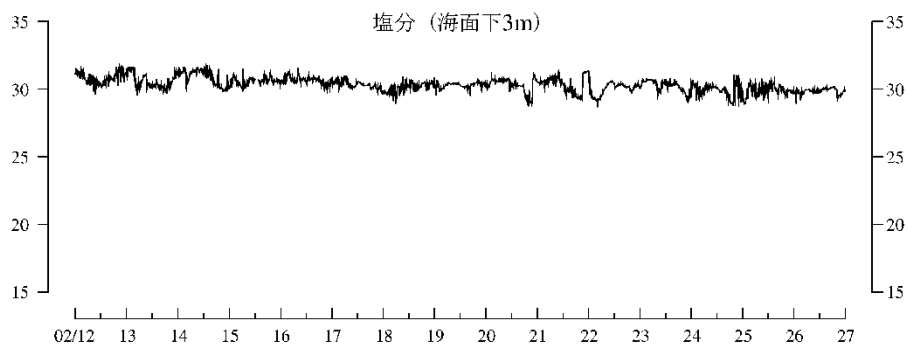
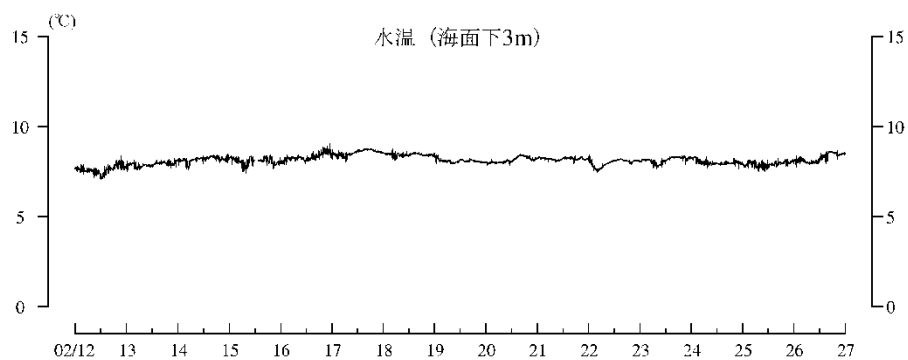
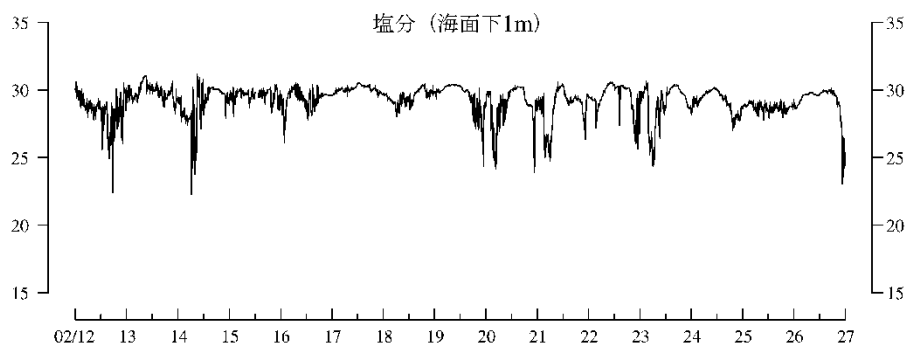
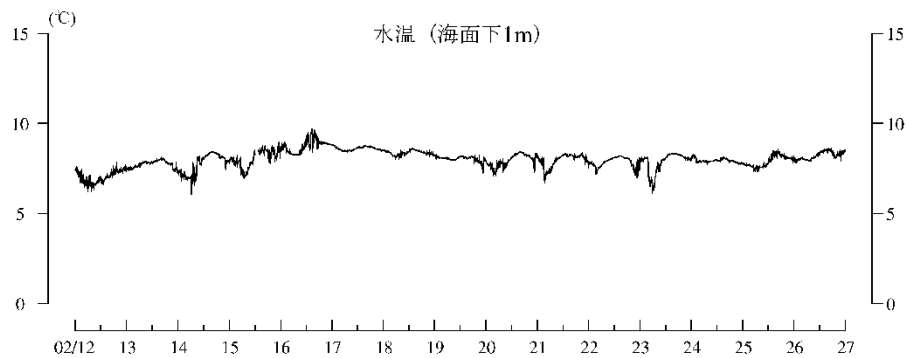
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 4 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



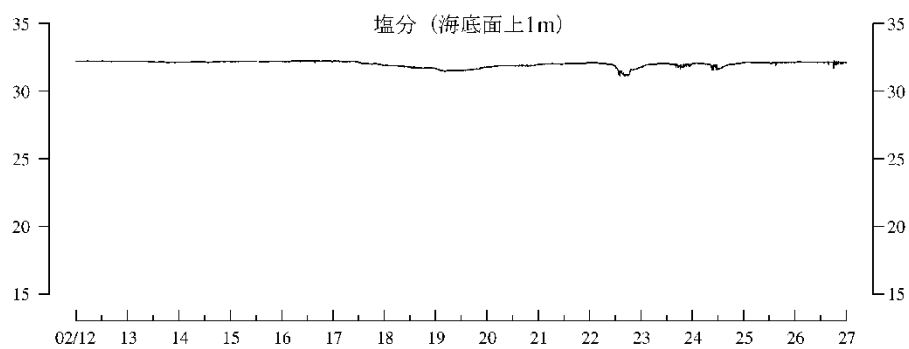
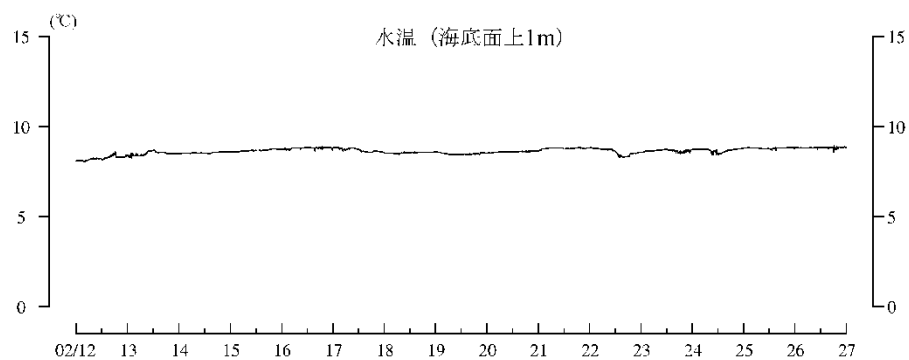
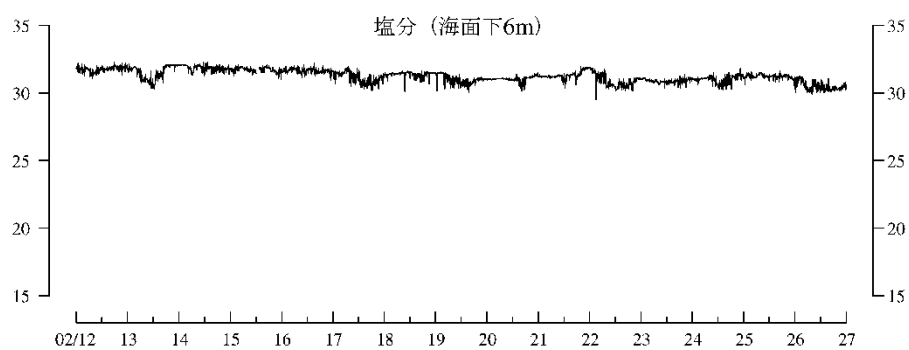
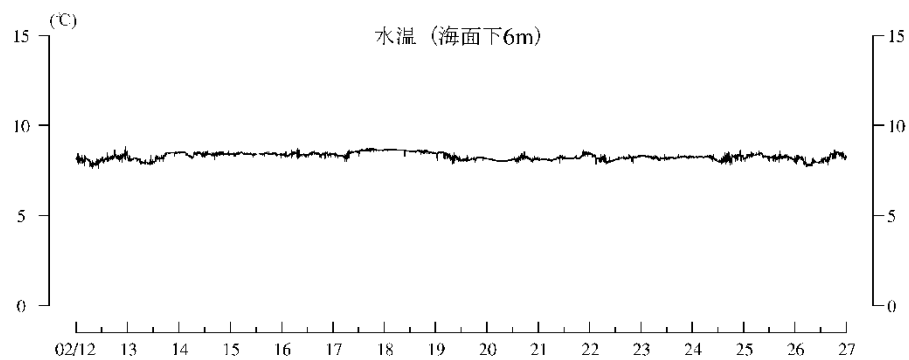
流況調査結果（水温、塩分）〔令和 7 年 2 月分〕

調査点 5 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



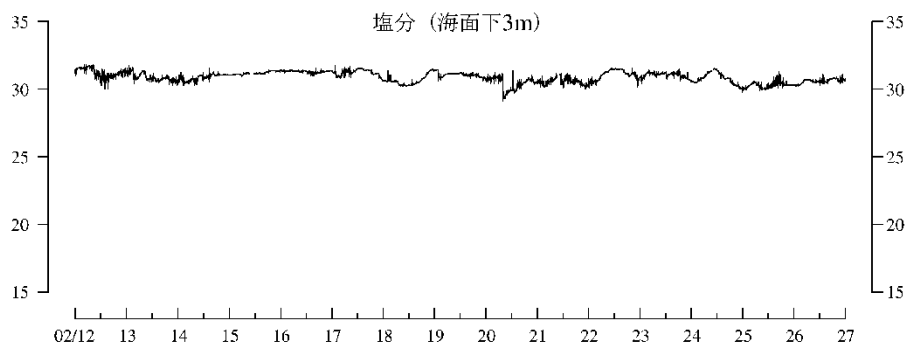
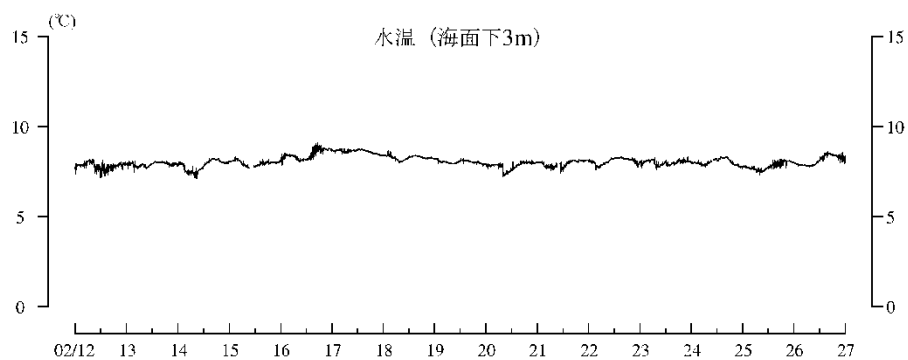
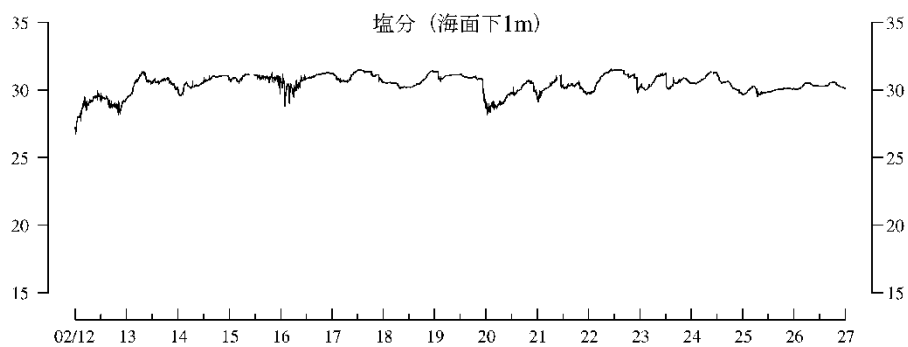
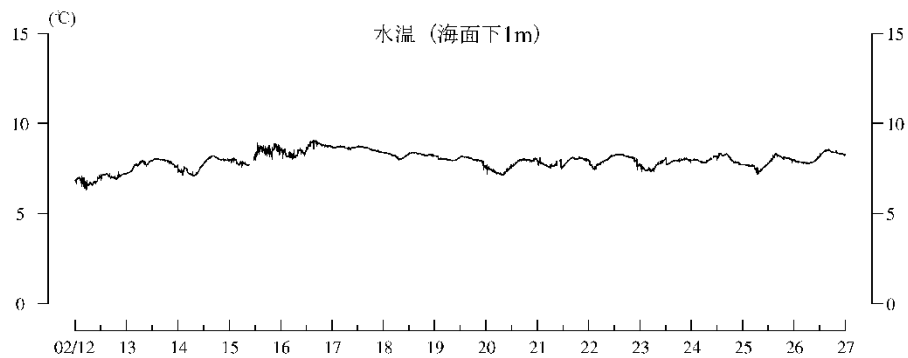
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 5 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



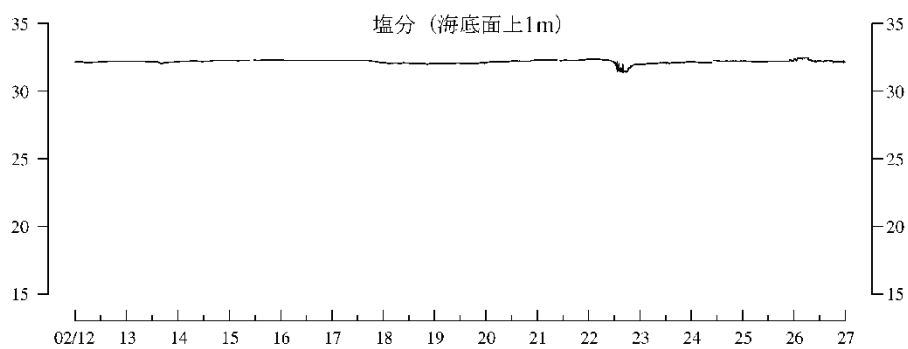
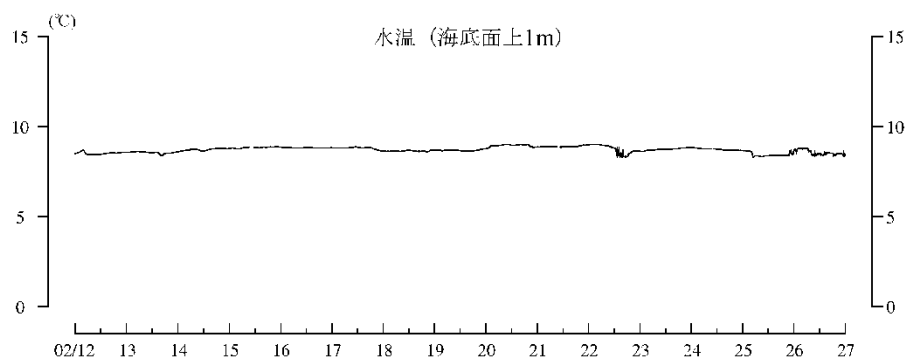
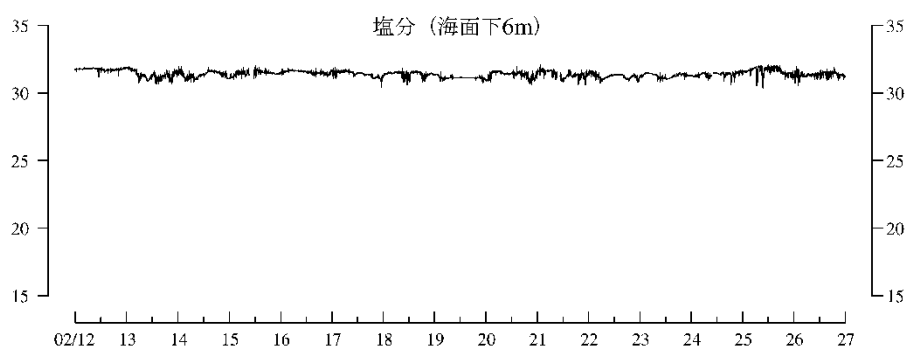
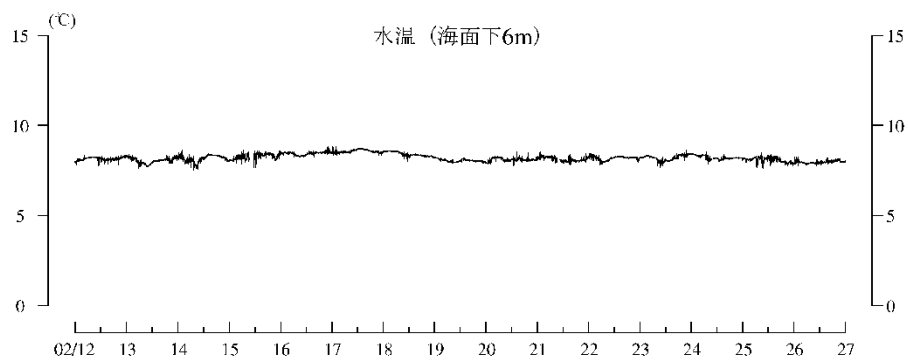
流況調査結果（水温、塩分）[令和 7 年 2 月分]

調査点 6 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



流況調査結果（水温、塩分）〔令和 7 年 2 月分〕

調査点 6 調査期間：令和 7 年 2 月 12 日～26 日



植物プランクトン調査結果 (1) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目 \ 調査点	2	
	上 層	下 層
種類数	69	60
細胞数 [cells/L]	17,064,300	428,600
沈殿量 [mL/L]	0.28	0.12
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 16,209,100 (95.0)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 264,000 (61.6) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 67,400 (15.7)

項目 \ 調査点	3	
	上 層	下 層
種類数	59	66
細胞数 [cells/L]	11,833,100	949,700
沈殿量 [mL/L]	0.17	0.32
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 11,365,800 (96.1)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 624,000 (65.7) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 143,600 (15.1)

項目 \ 調査点	4	
	上 層	下 層
種類数	59	66
細胞数 [cells/L]	15,106,800	1,638,600
沈殿量 [mL/L]	0.19	0.79
主要種 細胞数[%]	<i>Skeletonema costatum</i> complex 14,610,200 (96.7)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 931,000 (56.8) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 279,200 (17.0)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

植物プランクトン調査結果 (2) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目	調査点	5	
		上 層	下 層
種類数		59	73
細胞数 [cells/L]		9,207,000	1,329,000
沈殿量 [mL/L]		0.14	0.40
主要種 細胞数[%]		<i>Skeletonema costatum</i> complex 8,811,300 (95.7)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 716,800 (53.9) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 256,000 (19.3)

項目	調査点	平均	
		上 層	下 層
種類数		98	92
細胞数 [cells/L]		13,302,800	1,086,475
沈殿量 [mL/L]		0.20	0.41
主要種 細胞数[%]		<i>Skeletonema costatum</i> complex 12,749,100 (95.8)	<i>Skeletonema costatum</i> complex 633,950 (58.3) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. (cf. <i>pungens</i>) 186,550 (17.2)

注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。

2. 主要種は、各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

動物プランクトン調査結果 [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目 \ 調査点	2	3
種類数	19	17
個体数 [個体／m ³]	47,671	63,916
沈殿量 [mL／m ³]	19.0	13.5
主要種 個体数[%]	<i>Evadne nordmanni</i> 15,342 (32.2) nauplius of COPEPODA 7,671 (16.1) <i>Oikopleura</i> sp. 7,671 (16.1)	<i>Evadne nordmanni</i> 35,510 (55.6) <i>Podon polyphemoides</i> 7,347 (11.5)

項目 \ 調査点	4	5
種類数	13	14
個体数 [個体／m ³]	36,131	48,982
沈殿量 [mL／m ³]	14.6	14.7
主要種 個体数[%]	<i>Evadne nordmanni</i> 16,393 (45.4) <i>Podon polyphemoides</i> 5,377 (14.9) nauplius of COPEPODA 5,377 (14.9)	<i>Evadne nordmanni</i> 24,262 (49.5) <i>Podon polyphemoides</i> 7,213 (14.7) nauplius of COPEPODA 6,098 (12.4)

項目 \ 調査点	平均
種類数	21
個体数 [個体／m ³]	49,175
沈殿量 [mL／m ³]	15.5
主要種 個体数[%]	<i>Evadne nordmanni</i> 22,877 (46.5) nauplius of COPEPODA 6,215 (12.6) <i>Podon polyphemoides</i> 5,341 (10.9)

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

底生生物調査結果 (1) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目 \ 調査点		2	3	4
泥 温 [°C]		9.2	9.8	9.1
種類数	軟体動物門	5	1	1
	環形動物門	8	6	7
	節足動物門	1		
	そ の 他			
	合 計	14	7	8
個体数	軟体動物門	11	5	2
	環形動物門	208	90	58
	節足動物門	1		
	そ の 他			
	合 計	220	95	60
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	5.0	5.3	3.3
	環形動物門	94.5	94.7	96.7
	節足動物門	0.5		
	そ の 他			
	合 計	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	0.15	0.04	0.13
	環形動物門	3.40	2.66	1.48
	節足動物門	0.01		
	そ の 他			
	合 計	3.56	2.70	1.61
主要種 個体数[%]		シノブハネエラスビ [○] オ 188 (85.5)	シノブハネエラスビ [○] オ 77 (81.1)	シノブハネエラスビ [○] オ 48 (80.0)

注) 1. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。

2. 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

底生生物調査結果 (2) [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月12日

項目 \ 調査点		5	平均
泥 温 [°C]		8.9	9.3
種類数	軟体動物門	2	6
	環形動物門	7	12
	節足動物門		1
	そ の 他		
	合 計	9	19
個体数	軟体動物門	3	5
	環形動物門	80	109
	節足動物門		<1
	そ の 他		
	合 計	83	115
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	3.6	4.6
	環形動物門	96.4	95.2
	節足動物門		0.2
	そ の 他		
	合 計	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門	6.64	1.74
	環形動物門	1.56	2.28
	節足動物門		+
	そ の 他		
	合 計	8.20	4.02
主要種 個体数[%]		ハナオカキゴカイ 39 (47.0) シノブハネエラスビョ 32 (38.6)	シノブハネエラスビョ 86 (75.3) ハナオカキゴカイ 12 (10.3)

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
 3. 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

付着生物調査結果（付着植物）（1） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月16日

項目		調査点 層	ア			平 均
			上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱		3	2	2	3
	褐藻綱					
	紅藻綱		4	2	2	4
	そ の 他					
	合 計		7	4	4	7
湿重量 [g]	緑藻綱		5.08	3.46	1.14	3.23
	褐藻綱					
	紅藻綱		0.07	0.01	26.86	8.98
	そ の 他					
	合 計		5.15	3.47	28.00	12.21
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱		98.6	99.7	4.1	26.4
	褐藻綱					
	紅藻綱		1.4	0.3	95.9	73.6
	そ の 他					
	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]			アオサ属 4.88 (94.8)	シオケサ属 3.32 (95.7)	イトケサ属 25.20 (90.0)	イトケサ属 8.40 (68.8) アオサ属 1.96 (16.1) シオケサ属 1.26 (10.3)

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、または、湿重量組成比が0.1%未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着植物）（2） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月16日

項目		調査点 層			平 均
		上層	中層	下層	
種類数	緑藻綱	3	2	2	3
	褐藻綱		1		1
	紅藻綱	2	3	5	5
	そ の 他	1		1	2
	合 計	6	6	8	11
湿重量 [g]	緑藻綱	0.74	3.50	0.17	1.47
	褐藻綱		0.01		+
	紅藻綱	0.22	+	45.69	15.30
	そ の 他	+		0.01	+
	合 計	0.96	3.51	45.87	16.78
湿重量 組成比 [%]	緑藻綱	77.1	99.7	0.4	8.8
	褐藻綱		0.3		+
	紅藻綱	22.9	+	99.6	91.2
	そ の 他	+		+	+
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0
主要種 湿重量[%]		シオクサ属 0.51 (53.1)	シオクサ属 1.80 (51.3)	イトクサ属 40.39 (88.1)	イトクサ属 13.48 (80.3)
		アオサ属 0.21 (21.9)	アオサ属 1.70 (48.4)	フタツカサネ属 4.97 (10.8)	
		アマノリ属 0.18 (18.8)			

- 注) 1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
 2. 湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、または、湿重量組成比が0.1%未満の場合、湿重量及び湿重量組成比は+で示す。
 3. 主要種は各調査点・各層での上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）（1）

〔令和7年2月分〕

調査日：令和7年2月16日

項目		調査点 層	ア			平 均
			上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門		8	6	14	17
	環形動物門		8	14	20	24
	節足動物門		9	9	12	19
	そ の 他		5	8	12	14
	合 計		30	37	58	74
個体数	軟体動物門		1,044	1,653	1,112	1,270
	環形動物門		141	268	1,644	684
	節足動物門		392	1,597	1,662	1,217
	そ の 他		51	158	256	155
	合 計		1,628	3,676	4,674	3,326
個体数 組成比 [%]	軟体動物門		64.1	45.0	23.8	38.2
	環形動物門		8.7	7.3	35.2	20.6
	節足動物門		24.1	43.4	35.6	36.6
	そ の 他		3.1	4.3	5.5	4.7
	合 計		100.0	100.0	100.0	100.0
湿重量 [g]	軟体動物門		75.48	81.61	50.49	69.19
	環形動物門		5.40	7.81	30.11	14.44
	節足動物門		8.89	163.27	6.79	59.65
	そ の 他		2.21	32.99	144.70	59.97
	合 計		91.98	285.68	232.09	203.25
主要種 個体数[%]		ウスカシオツカイ	ウスカシオツカイ	ウスカシオツカイ	ウスカシオツカイ	ウスカシオツカイ
		723 (44.4)	1,528 (41.6)	943 (20.2)	1,065 (32.0)	
		モクスヨコエビ科	タテソコエビ属	カンザシコカイ科	タテソコエビ属	
		283 (17.4)	822 (22.4)	616 (13.2)	406 (12.2)	
		コウロエンカリハカリカイ	クビナカワレカラ	ウミミスムシ		
		276 (17.0)	510 (13.9)	584 (12.5)		

- 注）1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（付着動物）（2）

〔令和7年2月分〕

調査日：令和7年2月16日

項目		調査点	イ			平 均
		層	上層	中層	下層	
種類数	軟体動物門	16	8	9	21	
	環形動物門	14	23	25	29	
	節足動物門	17	15	18	25	
	そ の 他	5	6	12	14	
	合 計	52	52	64	89	
個体数	軟体動物門	835	833	757	808	
	環形動物門	109	438	824	457	
	節足動物門	927	2,405	1,214	1,515	
	そ の 他	116	415	532	354	
	合 計	1,987	4,091	3,327	3,135	
個体数 組成比 [%]	軟体動物門	42.0	20.4	22.8	25.8	
	環形動物門	5.5	10.7	24.8	14.6	
	節足動物門	46.7	58.8	36.5	48.3	
	そ の 他	5.8	10.1	16.0	11.3	
	合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	
湿重量 [g]	軟体動物門	92.78	104.82	90.88	96.16	
	環形動物門	6.19	9.24	12.57	9.33	
	節足動物門	65.95	426.04	9.47	167.15	
	そ の 他	4.10	16.10	31.21	17.14	
	合 計	169.02	556.20	144.13	289.78	
主要種 個体数[%]		モクス°ヨコエビ°科 653 (32.9) ウスカヲシヅカ°イ 485 (24.4) コウロエンカリヒバ°リカ°イ 272 (13.7)	タテソコエビ°属 769 (18.8) ウミミス°ムシ 702 (17.2) ウスカヲシヅカ°イ 661 (16.2) アメリカフシ°ツボ° 594 (14.5)	ウミミス°ムシ 858 (25.8) Phoronis sp. 437 (13.1) コウロエンカリヒバ°リカ°イ 370 (11.1) ウスカヲシヅカ°イ 370 (11.1)	ウミミス°ムシ 521 (16.6) ウスカヲシヅカ°イ 505 (16.1)	

- 注）1. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
2. 個体数、湿重量は0.1m²当たりで示す。湿重量が0.01g未満の場合、湿重量は+で示す。
3. 主要種は各調査点・各層での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 上層：平均水面 中層：大潮期最低潮面 下層：大潮期最低潮面-1mである。

付着生物調査結果（ムラサキイガイ現存量調査） [令和7年2月]

調査日：令和7年2月16日

① 枠取り調査

項目 \ 調査点		ア	イ	平均
個体数	上位	2	1	2
	中位	2	1	2
	下位	0	1	<1
湿重量[g]	上位	0.02	0.09	0.06
	中位	0.05	+	0.03
	下位	0.00	1.72	0.86

注) 個体数、湿重量は0.25m²当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

調査日：令和7年2月16日

② 目視観察

水深[m] \ 調査点	ア		イ	
	被度階級	層厚[mm]	被度階級	層厚[mm]
+1.0 ～ +0.5				
+0.5 ～ 0.0				
0.0 ～ -0.5				
-0.5 ～ -1.0				
-1.0 ～ -1.5				
-1.5 ～ -2.0				
-2.0 ～ -2.5				
-2.5 ～ -3.0				
-3.0 ～ -3.5				
-3.5 ～ -4.0				
-4.0 ～ -4.5				
-4.5 ～ -5.0				
-5.0 ～ -5.5				
-5.5 ～ -6.0				
-6.0 ～ -6.5				
-6.5 ～ -7.0				
-7.0 ～ -7.5				
-7.5 ～ -8.0				

注) 調査点ア、イでは出現しなかった。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（1）

[令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日、25日

項目		調査点	3	4	7
種類数	魚類		5	6	5
	甲殻類(エビ・カニ類)		3	4	3
	頭足類(イカ・タコ類)		1		
	その他			1	
	合計		9	11	8
個体数	魚類		6	17	13
	甲殻類(エビ・カニ類)		11	50	10
	頭足類(イカ・タコ類)		1		
	その他			1	
	合計		18	68	23
湿重量 [g]	魚類		5,258.5	58.2	5,361.4
	甲殻類(エビ・カニ類)		18.2	94.3	21.7
	頭足類(イカ・タコ類)		1.0		
	その他			55.0	
	合計		5,277.7	207.5	5,383.1
主要種 個体数[%]			スヘスヘエビ 7 (38.9) シヤコ 3 (16.7) アカエイ 2 (11.1)	スヘスヘエビ 24 (35.3) アカエビ 13 (19.1) シヤコ 12 (17.6) ハタタテメリ 11 (16.2)	アカエイ 7 (30.4) シヤコ 5 (21.7) スヘスヘエビ 4 (17.4) テンジクタイ 3 (13.0)
主要種 湿重量[%]			ヒラメ 4,710.1 (89.2)	シヤコ 75.3 (36.3) アカガイ 55.0 (26.5) ハタタテメリ 26.7 (12.9) アカシタヒラメ 23.9 (11.5)	アカエイ 5,350.4 (99.4)
主要種の 全長[cm] (平均値)	アカガイ			6.5	
	サルボウガイ				
	トリガイ				
	シヤコ		7.1	7.9	6.5
	アカエビ			4.2	
	スヘスヘエビ		3.2	3.6	3.9
	アカエイ		36.7		54.8
	テンジクタイ		3.4	5.2	4.5
	ハタタテメリ		6.9	7.1	
	ネスミコチ			6.8	8.4
	ヒラメ		78.2		
	アカシタヒラメ			15.8	
	イソシタ属				

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 主要種の全長欄のアカガイ類は殻長を示す。

水産生物調査結果（小型底曳網調査①）（2）

〔令和7年2月分〕

調査日：令和7年2月11日、25日

項目		調査点		8	9	平均
種類数	魚類			3	1	12
	甲殻類(エビ・カニ類)			2		7
	頭足類(イカ・タコ類)					1
	その他			4		4
	合計			9	1	24
個体数	魚類			5	1	8
	甲殻類(エビ・カニ類)			2		15
	頭足類(イカ・タコ類)					<1
	その他			9		2
	合計			16	1	25
湿重量 [g]	魚類			104.6	2.6	2,157.1
	甲殻類(エビ・カニ類)			1.0		27.0
	頭足類(イカ・タコ類)					0.2
	その他			84.2		27.8
	合計			189.8	2.6	2,212.1
主要種 個体数[%]				サルボウガイ 5 (31.3) トリガイ 2 (12.5) ネスミコチ 2 (12.5) イヌシタ属 2 (12.5)	イヌシタ属 1 (100.0)	スハスハエビ 7 (28.6) シヤコ 4 (15.9) アカエビ 3 (10.3)
主要種 湿重量[%]				アカエイ 99.9 (52.6) サルボウガイ 67.1 (35.4)	イヌシタ属 2.6 (100.0)	アカエイ 1,192.9 (53.9) ヒラメ 942.0 (42.6)
主要種の 全長[cm] (平均値)	アカガイ			3.6		5.1
	サルボウガイ			3.2		3.2
	トリガイ			-		-
	シヤコ					7.4
	アカエビ					4.2
	スハスハエビ			3.0		3.6
	アカエイ			32.4		50.3
	テンジクダイ					4.4
	ハタテメリ					7.1
	ネスミコチ			4.8		6.3
	ヒラメ					78.2
	アカシタヒラメ					15.8
	イヌシタ属			6.9	8.1	7.3

- 注) 1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
2. 平均欄の種類数は、総種類数を示す。
3. 主要種は各調査点での個体数または湿重量の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。
4. 主要種の全長欄のニカイイ類は殻長を示す。
5. 主要種の全長欄の「-」は破損により測定不可能であったことを示す。

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月25日

調査点：3

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度 [%]
0.5	7.5	28.9	12.0	120.5
1.0	7.7	29.7	11.9	121.2
2.0	8.3	30.9	11.5	119.9
3.0	8.3	31.3	10.8	113.0
4.0	8.3	31.4	10.5	109.9
5.0	8.4	31.4	10.2	107.2
6.0	8.5	31.6	9.9	103.8
7.0	8.5	31.6	9.7	102.3
8.0	8.5	31.7	9.7	101.4
9.0	8.7	31.8	9.5	100.3
10.0	8.8	32.1	9.3	98.2
11.0	8.9	32.1	8.8	93.7
12.0	8.9	32.1	8.6	91.6
13.0	8.9	32.1	8.5	89.9
14.0	8.9	32.1	8.4	89.0
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	8.9	32.1	8.4	89.0

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日

調査点： 4

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	7.2	29.2	12.3	123.0
1.0	7.2	29.2	12.3	123.3
2.0	7.2	29.2	12.3	123.2
3.0	7.2	29.2	12.3	122.8
4.0	7.2	29.5	12.1	121.9
5.0	7.3	30.2	11.7	118.1
6.0	7.7	31.4	11.1	114.1
7.0	8.1	32.1	10.6	110.2
8.0	8.3	32.0	10.2	106.8
9.0	8.4	32.1	10.1	105.6
10.0	8.3	32.2	10.0	104.6
11.0	8.3	32.2	9.7	101.7
12.0	8.3	32.2	9.6	100.1
13.0	8.3	32.2	9.5	99.3
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	8.3	32.2	9.5	99.2

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月25日

調査点：7

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	D0[mg/l]	D0飽和度 [%]
0.5	7.8	28.2	11.8	118.7
1.0	7.8	29.0	11.8	119.6
2.0	7.9	30.2	11.8	121.4
3.0	8.0	30.4	11.4	117.2
4.0	8.1	30.6	10.9	112.9
5.0	8.2	30.8	10.7	110.9
6.0	8.1	31.0	10.6	109.9
7.0	8.3	31.4	10.3	107.0
8.0	8.4	31.5	10.1	105.2
9.0	8.5	31.6	9.7	101.3
10.0	8.6	31.7	9.3	98.0
11.0	8.8	31.8	9.1	95.9
12.0	9.0	32.0	8.6	90.8
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	9.1	32.1	8.0	84.8

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日

調査点： 8

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	6.7	20.4	12.5	117.0
1.0	6.7	24.2	12.4	118.5
2.0	6.9	27.9	12.7	125.4
3.0	7.2	29.7	12.6	126.8
4.0	7.8	30.5	11.6	118.6
5.0	7.8	30.8	10.8	110.4
6.0	7.9	30.9	10.4	107.0
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	7.9	31.3	9.8	101.4

海域生態系様式第8号

水産生物調査結果（小型底曳網調査②） [令和7年2月分]

調査日：令和7年2月11日

調査点： 9

項目 水深[m]	水温[℃]	塩分[-]	DO[mg/l]	DO飽和度 [%]
0.5	6.0	15.0	10.7	94.8
1.0	6.0	15.0	10.7	94.8
2.0				
3.0				
4.0				
5.0				
6.0				
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				
11.0				
12.0				
13.0				
14.0				
15.0				
16.0				
17.0				
18.0				
19.0				
20.0				
海底面上1.0	6.4	16.8	10.5	95.4